資料2

熊本天草幹線道路（宇土（うと）～三角（みすみ））

第3回　説明資料

令和3年2月18日

国土交通省　九州地方整備局

目　　次

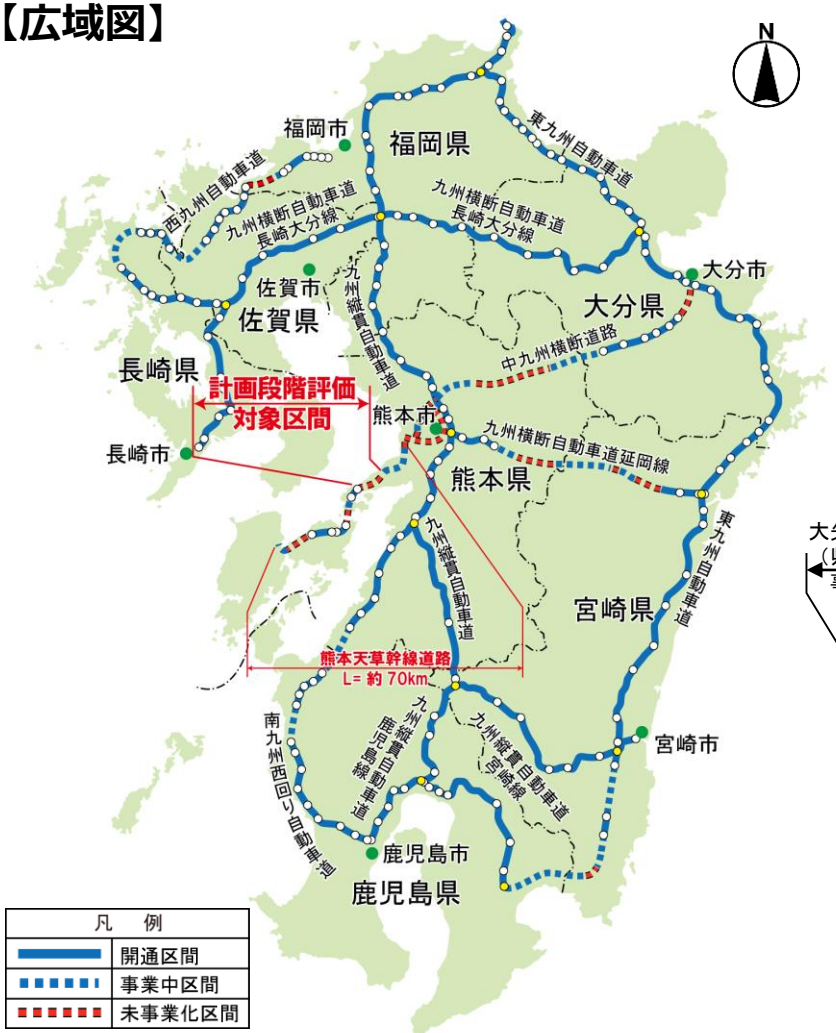
１. 前回までの審議内容　・・・　１
２. 第２回意見聴取の概要　・・・　７
３. 第２回意見聴取の結果　・・・１６
４. 対応方針（案）の検討　・・・３２
５. 自治体への意見照会　・・・３７
６. 対応方針（案）まとめ　・・・３９

１．前回までの審議内容

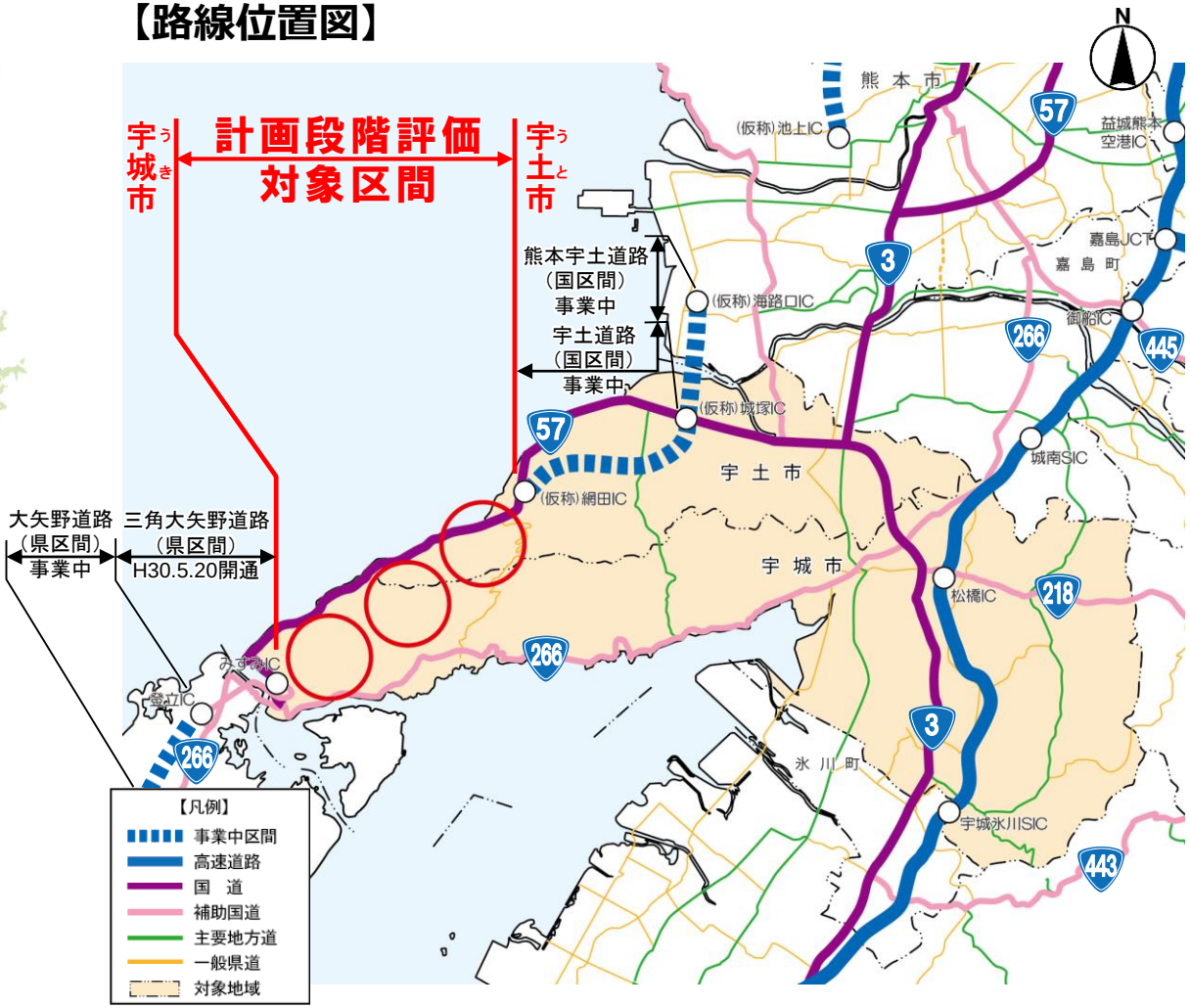
1－1. 評価対象区間

○対象区間は熊本県の県庁所在地である熊本市と天草市を結ぶ熊本天草幹線道路の一部。
○また、平成30年5月20日に開通した三角大矢野道路（県区間）と現在事業中の宇土道路（国区間）を結ぶ道路である。

【広域図】



【路線位置図】



1－2. 計画段階評価手続きの進め方（案）

今回

【令和元年5月28日】

第1回
九州地方小委員会

【審議事項】
◆計画段階評価手続きの進め方
◆地域と道路の課題
◆政策目標（案）
◆地域の意見聴取方法（案）

【令和元年8月～10月】

意見聴取

◆意見聴取内容
〇地域と道路の課題
〇政策目標（案）
◆意見聴取方法
《ヒアリング
オープンハウス
アンケート》

対象者：沿道自治体
団体代表者
地域住民
企業　等

【令和2年2月12日】

第2回
九州地方小委員会

【審議事項】
◆地域から聴取した意見内容の確認
◆政策目標の設定
◆複数案の設定
◆評価項目の設定
◆複数案の比較評価
◆地域の意見聴取方法（案）

【令和2年8月～10月】

意見聴取

◆意見聴取内容
〇対策方針（複数案）の検討に際し重視する項目
◆意見聴取方法
《ヒアリング
オープンハウス
アンケート》

対象者：沿道自治体
団体代表者
地域住民
企業　等

【令和3年2月18日】

第3回
九州地方小委員会

【審議事項】
◆地域から聴取した意見内容の確認
◆地域等の意見を踏まえた対応方針（案）の検討

対応方針の決定（概略ルート、構造）

地　方　小　委　員　会

1－3. 前回審議内容<九州地方小委員会（2回目）>

●社会資本整備審議会　道路分科会　九州地方小委員会（2回目）の概要

■実施日
令和2年2月12日（水）

■主な議題
①地域から聴取した意見内容の確認
②政策目標の設定
③複数案の設定
④評価項目の設定
⑤複数案の比較評価
⑥地域の意見聴取方法（案）

●九州地方小委員会（2回目）での主な指摘事項と対応方針

指摘事項	対応状況
・今後の意見聴取については、**広域的な観点から幅広く意見聴取する等工夫**して頂きたい。	・地域住民など対象区間の日常的な利用者を対象とした意見聴取である中、第1回意見聴取では、広域的な利用者※からの意見は全体の約2割であった。 ・広域的な利用者においては、対象区間の利用頻度が低い傾向にあるため、第2回意見聴取では、より利用頻度が高い利用者を意見聴取に追加する手法を検討した。 【広域的な観点から幅広く意見聴取する工夫】 ・第2回意見聴取では、国道57号（宇土～三角）を日常的に利用する企業を調査のうえ、広域的な利用者として天草地域から利用している企業を選定し、ヒアリング対象に追加した。 【修正前】天草地域（天草市・上天草市・苓北町）の企業18社 【修正後】天草地域（天草市・上天草市・苓北町）の企業22社 （運輸業4社に追加ヒアリングを実施） 調査状況 ※対象区間の沿線地域（宇土市・宇城市）以外の利用者

1－4. 政策目標

■政策目標の設定

■地域の現状と課題や将来像等を踏まえ、5つの政策目標を設定しこれらの目標を達成するための対策案を検討。

地域の現状と課題

道路・交通の現状と課題

地域の将来像

政策目標

1. 災害時に機能する信頼性の高い道路ネットワークの構築
2. 走行性・速達性の向上による産業活動の支援
3. 定時性・速達性の確保による観光振興の支援
4. 安全性・定時性・速達性の確保による生活利便性の向上
5. 走行性・速達性の向上による救急医療活動の支援

■対策案の検討

【防災】
災害時の代替路を確保し、信頼性の高いネットワークを構築

【産業・物流】
産業拠点間の移動時間の短縮、走行性の向上による物流効率化に伴う産業活動の支援

【観光】
観光地間の移動時間の短縮、定時性の向上により、周辺観光地と一体となった観光振興の支援

【暮らし】
熊本市への移動時間の短縮、交通安全性の確保による生活利便性の向上

【医療】
熊本市の第三次救急医療施設への搬送時間短縮、走行性の向上による緊急医療体制の支援

基本コンセプト：災害時に機能する信頼性の高いネットワークを構築するとともに、熊本市への走行性・定時性・速達性の向上を図り、産業の活性化や観光の振興、生活利便性の向上や救急医療活動の支援を目指す。

○対策案を検討する上でのその他の配慮事項

- 【生活環境・自然環境の保全と調和】
- 【沿道利用・周辺家屋への配慮】
- 【段階的な整備効果】
- 【経済性への配慮】

既存の道路ストック活用や別線整備等の対策案を検討

2. 第2回意見聴取の概要

2－1．第2回意見聴取の概要

■意見聴取は、自治体・団体・企業ヒアリング、地域住民アンケート及びオープンハウスなど、以下の内容を実施した。

■意見聴取期間

令和2年　8月3日（月）～令和2年　10月31日（土）

■意見聴取の実施状況

<table>
<tr><th>対象</th><th>意見聴取方法</th><th>実施期間</th><th>対象の詳細</th><th colspan="2">回収状況</th></tr>
<tr><td>自治体</td><td rowspan="3">ヒアリング</td><td rowspan="3">令和2年　8月　3日（月）
～　10月31日（土）</td><td>熊本県、宇土市、宇城市、上天草市、天草市、苓北町</td><td colspan="2">6自治体</td></tr>
<tr><td>団体等</td><td>トラック協会、タクシー協会、バス協会、消防本部、農業協同組合、漁業協同組合、警察署、観光協会、商工会議所、医療機関、医師会等</td><td>22団体</td><td rowspan="2">全76票</td></tr>
<tr><td>企業</td><td>製造業、運輸・郵便業、卸売・小売業、宿泊・飲食サービス業、医療・福祉等</td><td>54社※</td></tr>
<tr><td rowspan="3">地域住民・その他道路利用者</td><td>アンケート</td><td>令和2年　8月　3日（月）
～　10月31日（土）</td><td>宇土市2，700戸、宇城市4，400戸
（合計7，100戸）</td><td>3，731票
（はがき　3，517票
WEB　214票）</td><td rowspan="3">全5，052票</td></tr>
<tr><td>オープンハウス</td><td>【平日】:5日間
令和2年　8月　7日（金）
令和2年　8月18日（火）
令和2年　8月19日（水）
令和2年　8月20日（木）
令和2年　8月21日（金）
【休日】:2日間
令和2年　8月22日（土）
令和2年　8月23日（日）</td><td>9箇所
【平日】
・宇土市役所
・宇城市役所
・上天草市役所
・天草市役所
・熊本市役所
【休日】
・道の駅「宇土マリーナ」
・道の駅「うき」
・道の駅「上天草さんぱーる」
・道の駅「有明」</td><td>1，304票</td></tr>
<tr><td>留置き</td><td>令和2年　8月　7日（金）
～　8月23日（日）</td><td>道の駅（宇土マリーナ、うき、上天草さんぱーる、有明、不知火、天草市イルカセンター）</td><td>17票
（投函　15票
WEB　2票）</td></tr>
</table>

※広域的な利用者の意見聴取の強化の観点から4社を追加

2－2. 第2回意見聴取の実施状況　～ヒアリング～

■ヒアリング実施内容・回収状況

熊本天草幹線道路（宇土～三角）アンケート回答用紙

組織名
所属部署
御担当者名
御連絡先

問1 普段、国道57号（宇土～三角）をどの程度利用していますか？（単一回答）

1	ほぼ毎日（週4～7回）
2	週に数回程度（週2～3回）
3	月に数回程度（週1回未満）
4	ほとんど利用しない
5	利用したことがない　問4へ

問2 国道57号（宇土～三角）を通行する際の主な移動手段は何ですか？（単一回答）

1	自動車
2	公共交通（バス、タクシー）
3	バイク
4	自転車
5	徒歩

問3 国道57号（宇土～三角）を通行する際の主な利用目的は何ですか？（単一回答）

1	通勤・通学
2	仕事（営業・商談・運送など）
3	私用（買物・食事・通院など）
4	観光
5	その他［　　］具体的にご記入ください

問4-1 ルート帯について

ルート帯の検討に必要な「重視すべき事項」について5段階で評価してください。（5段階評価）

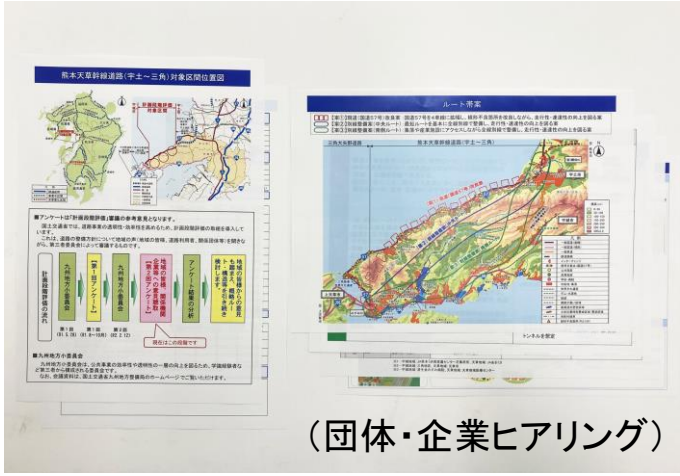
		重視すべき事項	特に重視すべき	やや重視すべき	どちらでもない	あまり重視すべきでない	重視する必要なし
防災	①	災害時に国道57号や国道266号の代替路として利用できること	5	4	3	2	1
産業物流	②	産業施設から熊本市への移動時間が短いこと、走りやすく揺れによる品質低下のリスクが少ないこと	5	4	3	2	1
観光	③	観光地への移動時間が短いこと	5	4	3	2	1
暮らし	④	事故の危険性が少ないこと、事故発生時に迂回路として利用できること	5	4	3	2	1
		熊本市へ早く行けること	5	4	3	2	1
医療	⑤	熊本市の第3次救急医療施設へ早く行けること、搬送時の走行性が良く、患者への負担が小さいこと	5	4	3	2	1
道路整備による影響	⑥	生活環境（騒音など）への影響が小さいこと	5	4	3	2	1
	⑦	自然環境（田畑・山地の改変など）への影響が小さいこと	5	4	3	2	1
	⑧	移転する家屋が少ないこと	5	4	3	2	1
	⑨	沿道からの利用が便利なこと	5	4	3	2	1
	⑩	段階的な整備効果が望めること	5	4	3	2	1
	⑪	整備費用が安いこと	5	4	3	2	1

問4-2 インターチェンジの位置等について

インターチェンジの接続位置等の検討に必要な「重視すべき事項」について5段階で評価してください。（5段階評価）

	重視すべき事項	特に重視すべき	やや重視すべき	どちらでもない	あまり重視すべきでない	重視する必要なし
⑫	災害時に安全かつ円滑にアクセスすること	5	4	3	2	1
⑬	産業施設に近接し、熊本市の卸売市場への移動時間が短いこと	5	4	3	2	1
⑭	観光地に近接し、観光地への移動時間が短いこと	5	4	3	2	1
⑮	集落に近接し、熊本市の市街地や第3次救急医療施設に早く行けること	5	4	3	2	1

問4-3 上記事項を重視すべきと思う理由や、上記以外で重視すべきと思うことがあれば、ご自由にお書きください。（自由回答）



（団体・企業ヒアリング）

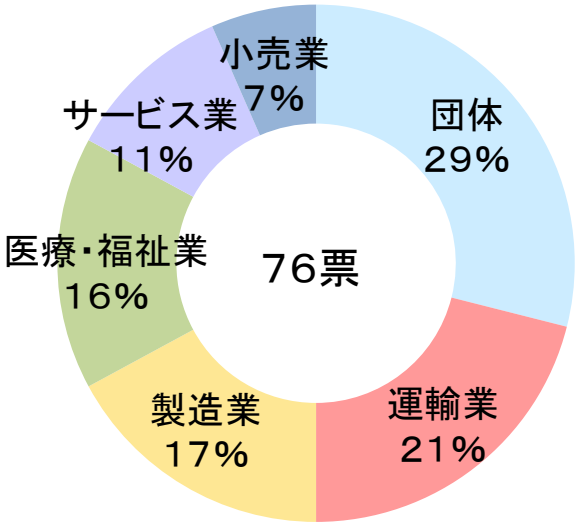
（回収票）

■対　象

自治体：（6自治体）

団　体：（22団体）
企　業：（54社）
全　：76票

■ ヒアリング実施団体・企業の内訳

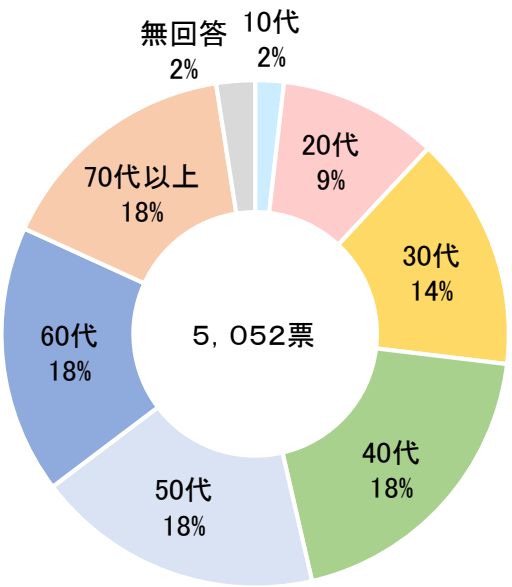


2－3. 第2回意見聴取の実施状況　～住民アンケート・オープンハウス・留置き～

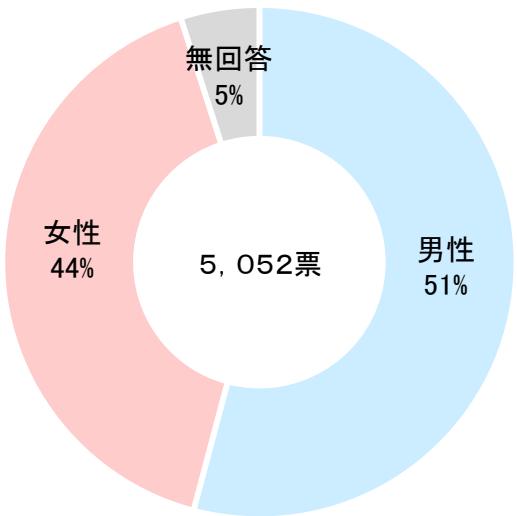
■回収票数は5,052票で、幅広い年代・性別の方から回答を頂いている。
■居住地は、対象地域である宇土市、宇城市で8割以上を占めているほか、上天草市、天草市、熊本市からの回答者が約2割を占めている。

■回答者の内訳

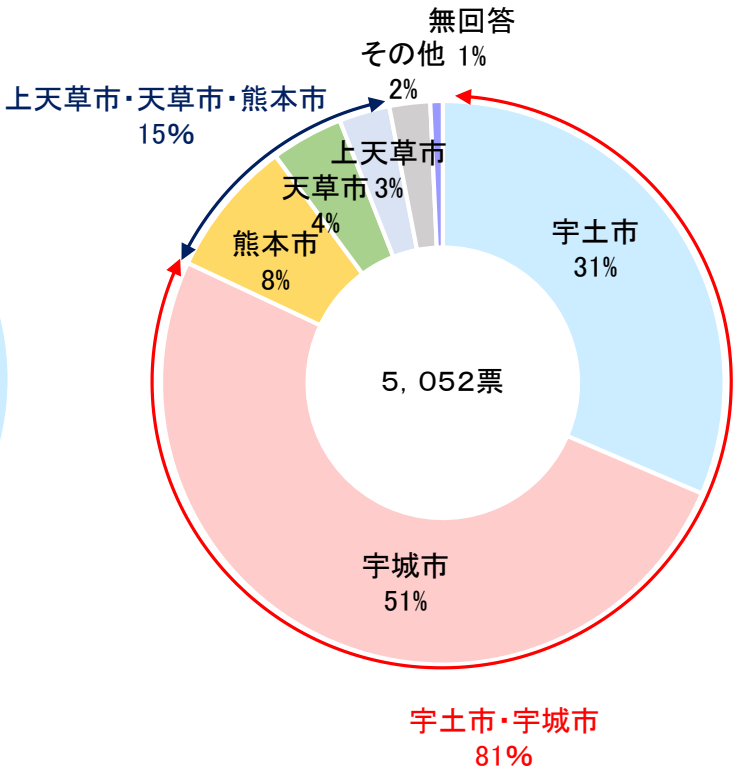
【 年 代 】



【 性 別 】



【 居住地 】

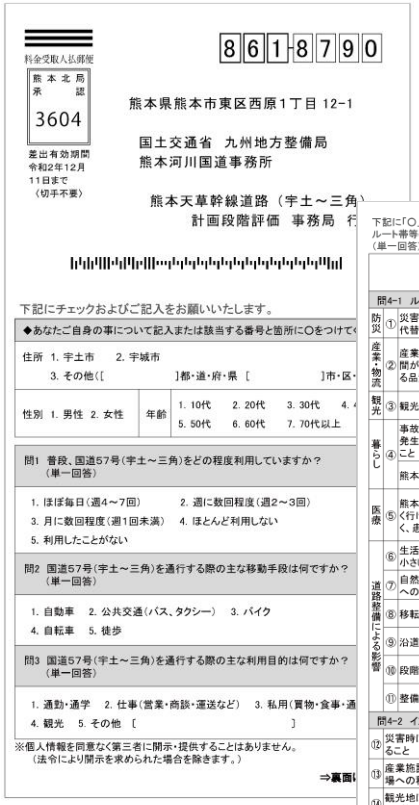


2－3．第2回意見聴取の実施状況　～住民アンケート～

■住民アンケート実施内容

■回答はがき

（表　面）



料金受取人払郵便
熊本北局承認
3604
差出有効期間
令和2年12月11日まで
（切手不要）

8 6 1-8 7 9 0

熊本県熊本市東区西原１丁目 12-1

国土交通省　九州地方整備局
熊本河川国道事務所

熊本天草幹線道路（宇土～三角）
計画段階評価　事務局　行

下記にチェックおよびご記入をお願いいたします。

◆あなたご自身の事について記入または該当する番号と箇所にOをつけて

住所　1. 宇土市　2. 宇城市
3. その他（[　　]都・道・府・県　[　　]市・区・

性別　1. 男性　2. 女性　年齢　1. 10代　2. 20代　3. 30代　4.
5. 50代　6. 60代　7. 70代以上

問1　普段、国道57号（宇土～三角）をどの程度利用していますか？（単一回答）
1. ほぼ毎日（週4～7回）　2. 週に数回程度（週2～3回）
3. 月に数回程度（週1回未満）　4. ほとんど利用しない
5. 利用したことがない

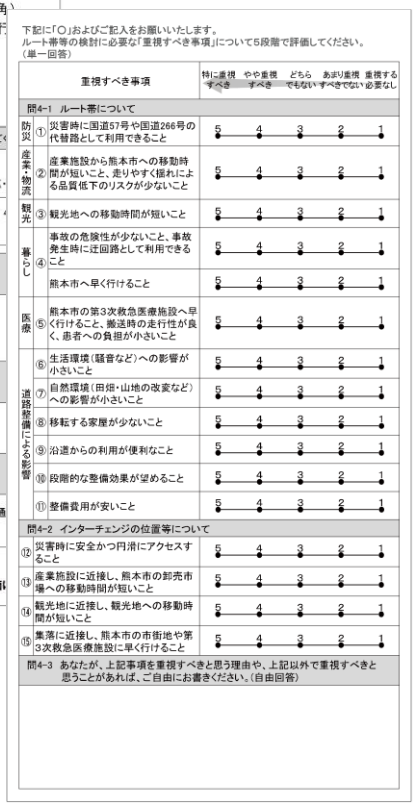
問2　国道57号（宇土～三角）を通行する際の主な移動手段は何ですか？（単一回答）
1. 自動車　2. 公共交通（バス、タクシー）　3. バイク
4. 自転車　5. 徒歩

問3　国道57号（宇土～三角）を通行する際の主な利用目的は何ですか？（単一回答）
1. 通勤・通学　2. 仕事（営業・商談・運送など）　3. 私用（買物・食事・通
4. 観光　5. その他　[　　]

※個人情報を同意なく第三者に開示・提供することはありません。
（法令により開示を求められた場合を除きます。）

⇒裏面

（裏　面）

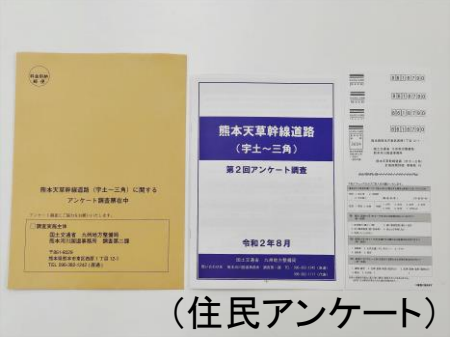


下記に「O」およびご記入をお願いいたします。
ルート帯等の検討に必要な「重視すべき事項」について5段階で評価してください。
（単一回答）

		重視すべき事項	特に重視すべき	やや重視すべき	どちらでもない	あまり重視すべきでない	重視する必要なし
問4-1　ルート帯について							
防災	①	災害時に国道57号や国道266号の代替路として利用できること	5	4	3	2	1
産業・物流	②	産業施設から熊本市への移動時間が短いこと、走りやすく揺れによる品質低下のリスクが少ないこと	5	4	3	2	1
観光	③	観光地への移動時間が短いこと	5	4	3	2	1
暮らし	④	事故の危険性が少ないこと、事故発生時に迂回路として利用できること	5	4	3	2	1
		熊本市へ早く行けること	5	4	3	2	1
医療	⑤	熊本市の第3次救急医療施設へ早く行けること、搬送時の走行性が良く、患者への負担が小さいこと	5	4	3	2	1
道路整備による影響	⑥	生活環境（騒音など）への影響が小さいこと	5	4	3	2	1
	⑦	自然環境（田畑・山地の改変など）への影響が小さいこと	5	4	3	2	1
	⑧	移転する家屋が少ないこと	5	4	3	2	1
	⑨	沿道からの利用が便利なこと	5	4	3	2	1
	⑩	段階的な整備効果が望めること	5	4	3	2	1
	⑪	整備費用が安いこと	5	4	3	2	1
問4-2　インターチェンジの位置等について							
	⑫	災害時に安全かつ円滑にアクセスすること	5	4	3	2	1
	⑬	産業施設に近接し、熊本市の卸売市場への移動時間が短いこと	5	4	3	2	1
	⑭	観光地に近接し、観光地への移動時間が短いこと	5	4	3	2	1
	⑮	集落に近接し、熊本市の市街地や第3次救急医療施設に早く行けること	5	4	3	2	1
問4-3　あなたが、上記事項を重視すべきと思う理由や、上記以外で重視すべきと思うことがあれば、ご自由にお書きください。（自由回答）							

■住民アンケート調査票・回収状況

対象：	地域住民
配布：	宇土市2，700戸 宇城市4，400戸
意見聴取数：	3，731票 （うちWEB：214票）
期間：	令和2年　8月　3日（月） ～　10月31日（土）



（住民アンケート）

（回収はがき）

2－3. 第2回意見聴取の実施状況　～オープンハウス～

■オープンハウス実施状況

＜平日＞

【令和2年8月7日（金）　熊本市　熊本市役所】

【令和2年8月19日（水）　宇土市　宇土市役所】

対象：	地域住民
会場：	・宇土市役所　・道の駅「宇土マリーナ」 ・宇城市役所　・道の駅「うき」 ・上天草市役所　・道の駅「上天草さんぱーる」 ・天草市役所　・道の駅「有明」 ・熊本市役所
意見聴取数：	1，304票
期間：	【平日】：5日間 令和2年8月　7日（金）、18日（火）、19日（水） 20日（木）、21日（金） 【休日】：2日間 令和2年8月22日（土）、23日（日）

＜休日＞

【令和2年8月22日（土）　天草市　道の駅「有明」】

【令和2年8月22日（土）　上天草市
道の駅「上天草さんぱーる」】

【令和2年8月23日（日）　宇城市　道の駅「うき」】

2－3. 第2回意見聴取の実施状況　～留置き～

■アンケート回収ボックスの設置

＜留置き＞

【 道の駅「宇土マリーナ」 】

【 道の駅「うき」 】

【 道の駅「不知火」 】

【 道の駅「上天草さんぱーる」 】

【 道の駅「有明」 】

【 道の駅「天草市イルカセンター」 】

＜ポスター＞

対象：	広域的な道路利用者
設置箇所：	道の駅6箇所
意見聴取数：	17票 （うちWEB：2票）
期間：	令和2年　8月　7日（金） ～23日（日）

2－3. 第2回意見聴取の実施状況　～WEBアンケート（住民アンケート・留置き）～

■WEBアンケート調査の実施

＜地域住民用＞

熊本天草幹線道路（宇土～三角）における道路計画に関する第2回アンケートにご協力をお願いいたします

熊本天草幹線道路は熊本市を起点として宇土市・宇城市・上天草市を経由し天草市に至る延長約70kmの道路です。

本調査は、熊本天草幹線道路（宇土～三角）間の道路整備の計画検討を進めるにあたり、最適なルート帯やインターチェンジの接続位置等の検討に必要な重視すべき事項についてご意見を頂くことを目的としています。

皆様のご協力をお願いいたします。

■アンケート対象者

本アンケートは、宇土市、宇城市にお住まいの方から無作為に抽出し配布しています。

○本アンケートは、配布させて頂いた世帯のご家族の方を対象と考えております。お手数とは思いますが、アンケート回答へのご協力をお願いいたします。

○幅広い年齢層の方からのご意見をお伺いしたい為、ご家族皆様へのご協力をお願いしたく、「アンケート回答用　返信はがき」を4枚同封させて頂いております。

（対象は18歳以上としております。ご家族構成にあわせて必要枚数をご利用下さい。）

■回答の提出方法及び締切

○回答は次のいずれかの方法のうち1つをお選びください。

【方法1】同封しています「返信はがき」にご記入頂き、
令和2年10月31日（土）までに、
切手を貼らず郵便ポストへご投函をお願いいたします。

【方法2】インターネット接続環境のあるスマートフォンまたはパソコンより、
下記A、Bいずれかの方法でアンケートサイトにアクセスし、
令和2年10月31日（土）までに、回答をお願いいたします。

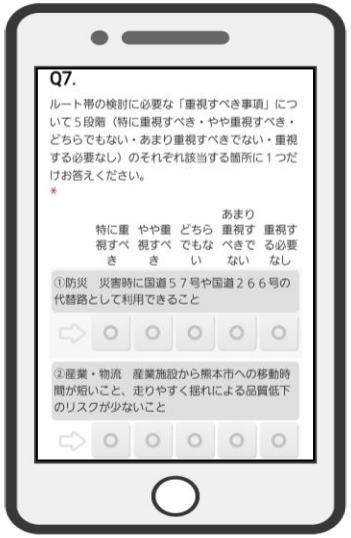
A　右記URLをアドレスバーに入力　https://questant.jp/q/utomisumi

B　QRコードからアクセス　QRコードはこちら →

＜広域道路利用者用＞

＜WEBアンケート開始画面＞

＜WEBアンケート回答画面＞



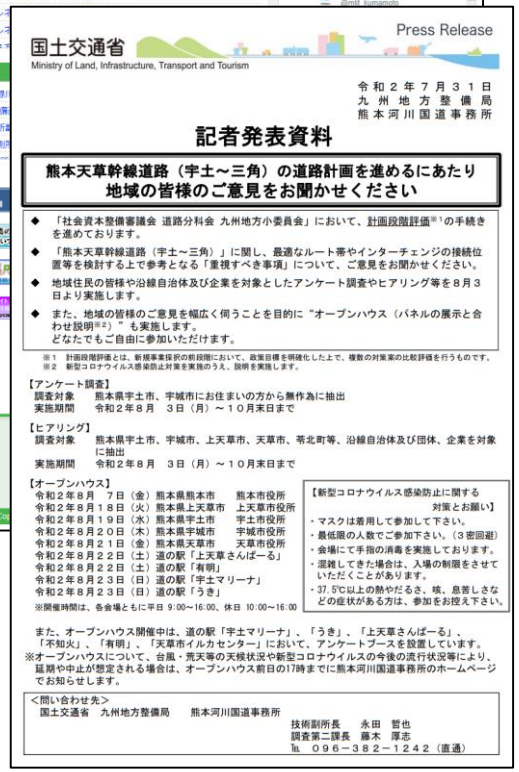
■実施にあたっての工夫

- ●住民アンケートと留置きそれぞれでWEBサイトを準備
- ●スマートフォン・タブレット・　PC対応
- ●1人1回までの回答制限を設定（IPアドレスで制限）

2－4. 第2回意見聴取の実施状況　～広報～

①ホームページ　　：国土交通省熊本河川国道事務所ホームページに意見聴取のページ（記者発表）を開設
②広報ポスター・チラシ　　：市役所・道の駅等にポスターを配布
③地域への情報提供　　：SNSを活用（国土交通省熊本河川国道事務所のTwitterに掲載）

①ホームページ（R2. 7. 31　記者発表）



国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Press Release

令和２年７月３１日
九州地方整備局
熊本河川国道事務所

記者発表資料

熊本天草幹線道路（宇土～三角）の道路計画を進めるにあたり地域の皆様のご意見をお聞かせください

◆「社会資本整備審議会 道路分科会 九州地方小委員会」において、計画段階評価※1の手続きを進めております。
◆「熊本天草幹線道路（宇土～三角）」に関し、最適なルート帯やインターチェンジの接続位置等を検討する上で参考となる「重視すべき事項」について、ご意見をお聞かせください。
◆地域住民の皆様や沿線自治体及び企業を対象としたアンケート調査やヒアリング等を８月３日より実施します。
◆また、地域の皆様のご意見を幅広く伺うことを目的に"オープンハウス（パネルの展示と合わせ説明※2）"も実施します。
どなたでもご自由に参加いただけます。

※１　計画段階評価とは、新規事業採択の前段階において、政策目標を明確化した上で、複数の対策案の比較評価を行うものです。
※２　新型コロナウイルス感染防止対策を実施のうえ、説明を実施します。

【アンケート調査】
調査対象　熊本県宇土市、宇城市にお住まいの方から無作為に抽出
実施期間　令和２年８月　３日（月）～１０月末日まで

【ヒアリング】
調査対象　熊本県宇土市、宇城市、上天草市、天草市、苓北町等、沿線自治体及び団体、企業を対象に抽出
実施期間　令和２年８月　３日（月）～１０月末日まで

【オープンハウス】
令和２年８月　７日（金）熊本県熊本市　熊本市役所
令和２年８月１８日（火）熊本県上天草市　上天草市役所
令和２年８月１９日（水）熊本県宇土市　宇土市役所
令和２年８月２０日（木）熊本県宇城市　宇城市役所
令和２年８月２１日（金）熊本県天草市　天草市役所
令和２年８月２２日（土）道の駅「上天草さんぱーる」
令和２年８月２２日（土）道の駅「有明」
令和２年８月２３日（日）道の駅「宇土マリーナ」
令和２年８月２３日（日）道の駅「うき」
※開催時間は、各会場ともに平日 9:00～16:00、休日 10:00～16:00

【新型コロナウイルス感染防止に関する対策とお願い】
・マスクは着用して参加して下さい。
・最低限の人数でご参加下さい。（３密回避）
・会場にて手指の消毒を実施しております。
・混雑してきた場合は、入場の制限をさせていただくことがあります。
・37.5℃以上の熱やだるさ、咳、息苦しさなどの症状がある方は、参加をお控え下さい。

また、オープンハウス開催中は、道の駅「宇土マリーナ」、「うき」、「上天草さんぱーる」、「不知火」、「有明」、「天草市イルカセンター」において、アンケートブースを設置しています。
※オープンハウスについて、台風・荒天等の天候状況や新型コロナウイルスの今後の流行状況等により、延期や中止が想定される場合は、オープンハウス前日の17時までに熊本河川国道事務所のホームページでお知らせします。

＜問い合わせ先＞
国土交通省　九州地方整備局　熊本河川国道事務所
技術副所長　永田　哲也
調査第二課長　藤本　厚志
℡　０９６－３８２－１２４２（直通）

②広報ポスター・チラシ

（表　面）

（裏　面）

宇城市役所

天草市役所

③地域への情報提供

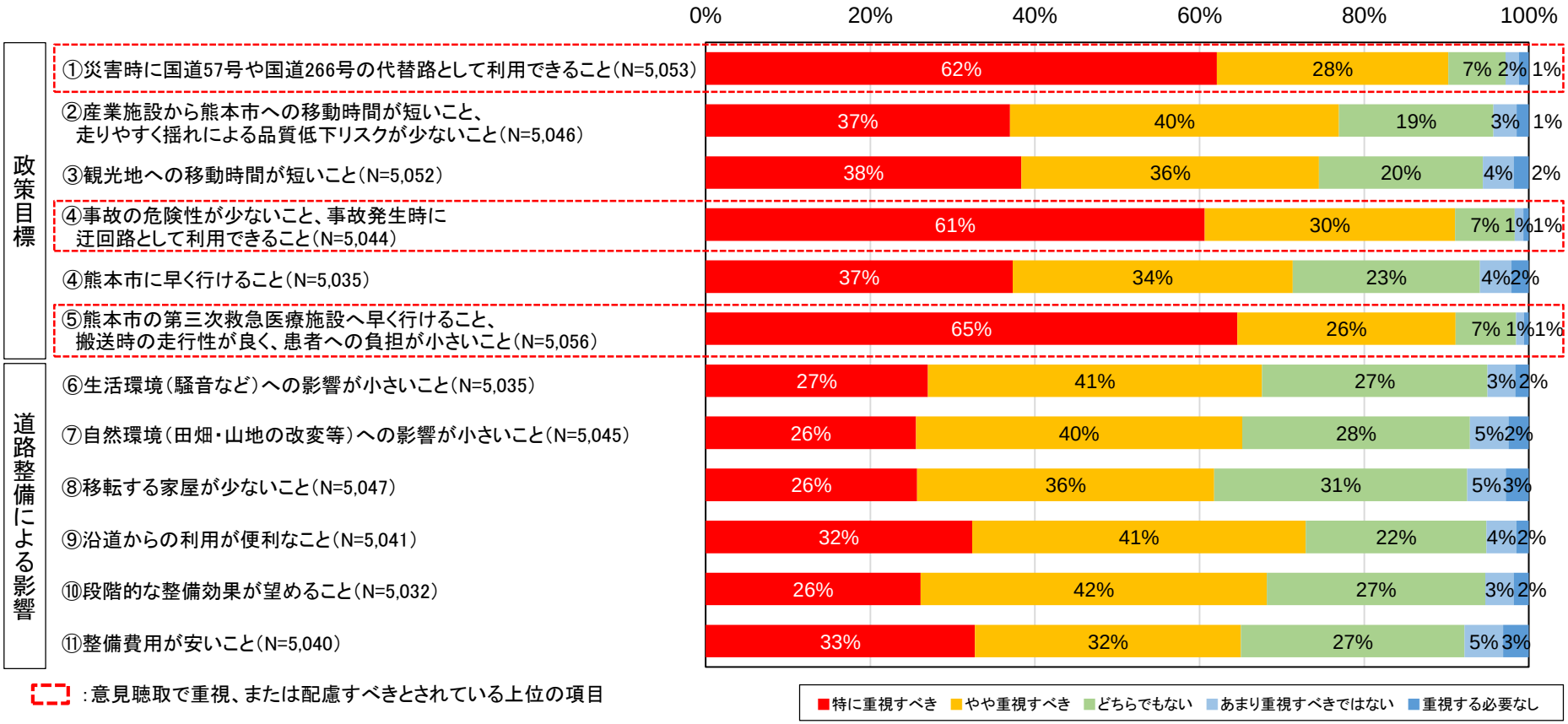
（Twitter）

３．第2回意見聴取の結果

3－1．第2回意見聴取の結果（ルート帯案に関すること）

■政策目標については、全ての項目で重視すべきとの意見が7割以上であった。
■その中でも、「①災害時に国道57号や国道266号の代替路として利用できること」「④事故の危険性が少ないこと、事故発生時に迂回路として利用できること」「⑤熊本市の第三次救急医療施設へ早く行けること、搬送時の走行性が良く、患者への負担が小さいこと」について重視している声が概ね9割と多かった。
■道路整備による影響については、いずれの項目についても、重視すべきとの意見が6割以上であった。

【質問1】ルート帯案の検討に必要な「重視すべき事項」について5段階（特に重視すべき・やや重視すべき・どちらでもない・あまり重視すべきでない・重視する必要なし）で評価して下さい。

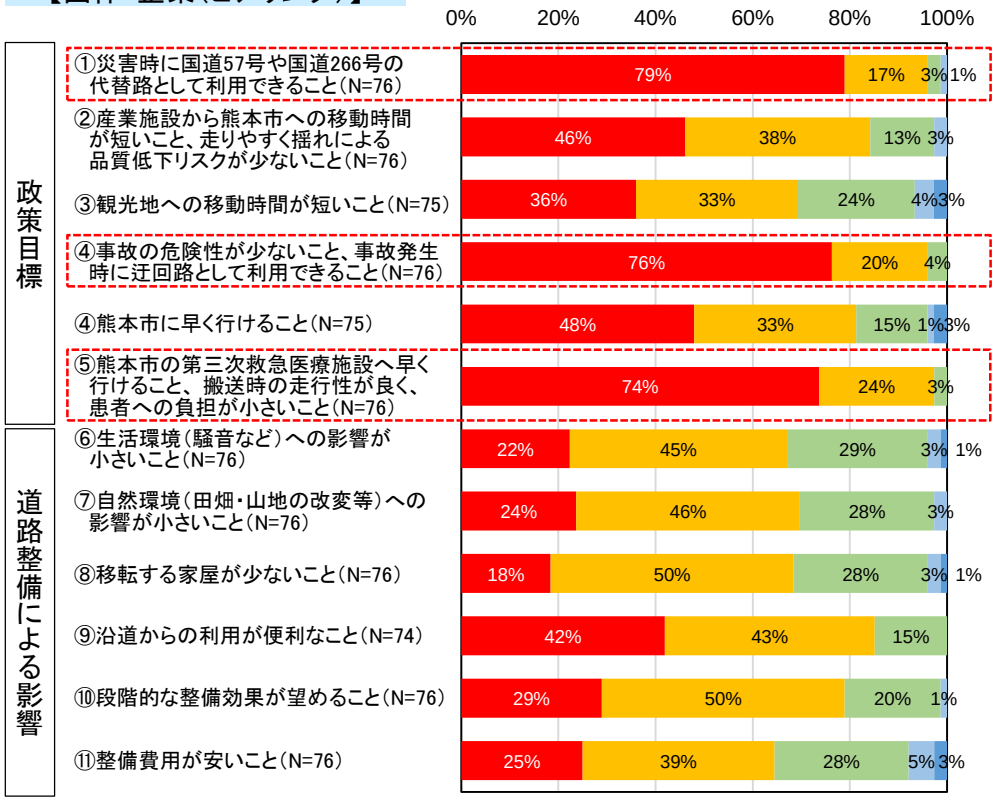


3－1．第2回意見聴取の結果（ルート帯案に関すること）

■団体・企業と地域住民ともに、「①災害時に国道57号や国道266号の代替路として利用できること」「④事故の危険性が少ないこと、事故発生時に迂回路として利用できること」「⑤熊本市の第三次救急医療施設へ早く行けること、搬送時の走行性が良く、患者への負担が小さいこと」について重視すべきとの意見が概ね9割と多かった。

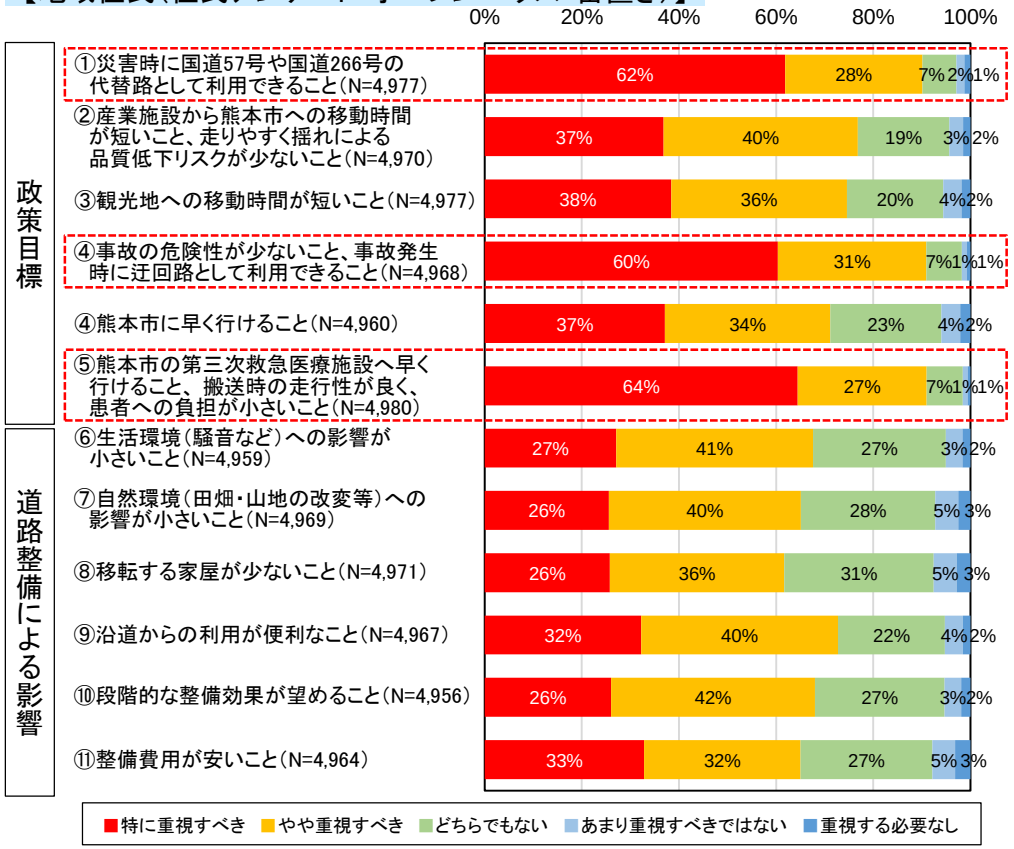
【質問1】ルート帯案の検討に必要な「重視すべき事項」について5段階（特に重視すべき・やや重視すべき・どちらでもない・あまり重視すべきでない・重視する必要なし）で評価して下さい。

【団体・企業（ヒアリング）】



：意見聴取で重視、または配慮すべきとされている上位の項目

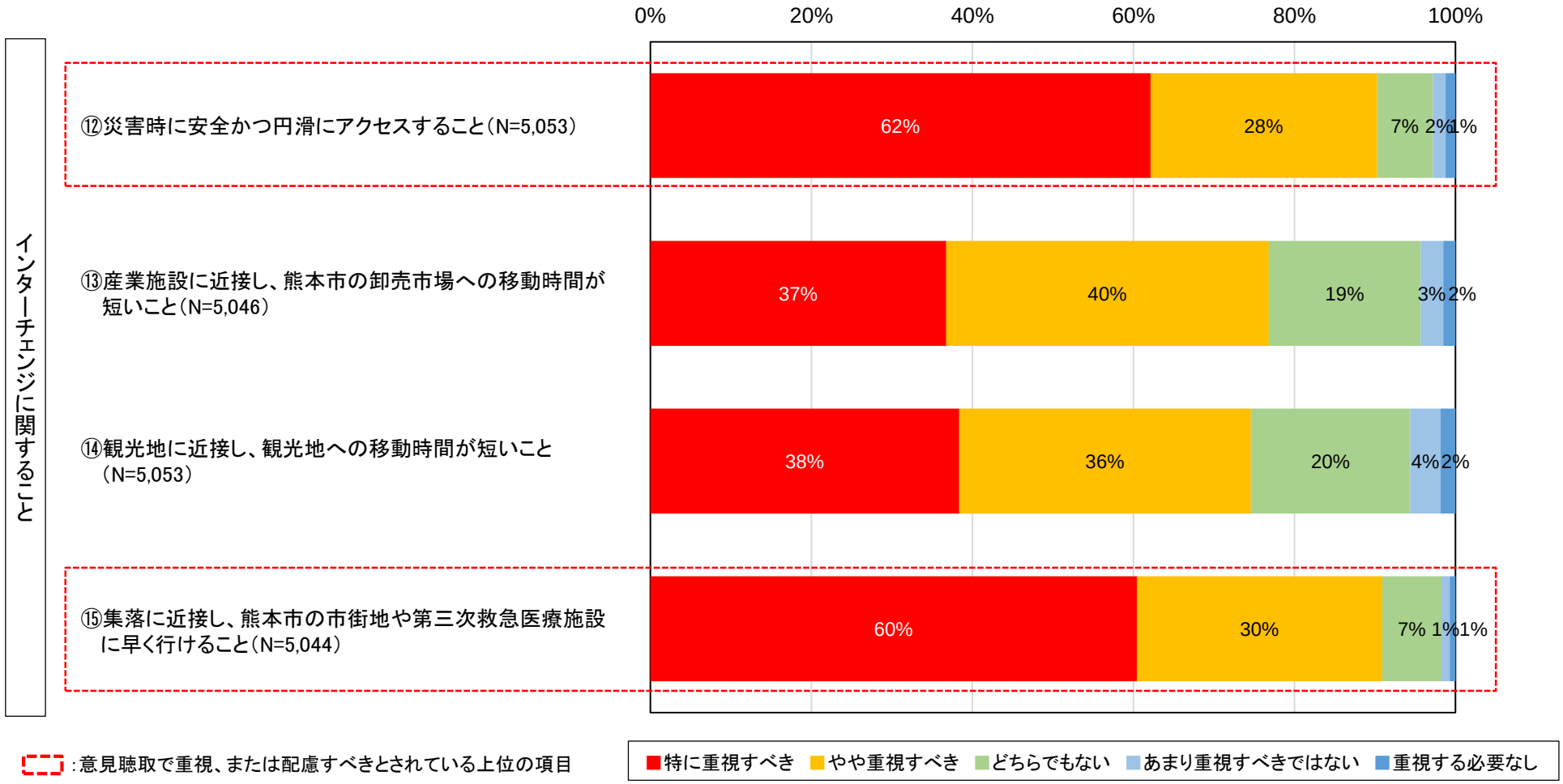
【地域住民（住民アンケート・オープンハウス・留置き）】



3－2. 第2回意見聴取の結果（インターチェンジに関すること）

■インターチェンジに関しては、「⑫災害時に安全かつ円滑にアクセスすること」「⑮集落に近接し、熊本市の市街地や第三次救急医療施設に早く行けること」について重視すべきとの意見が概ね9割と多かった。

【質問2】インターチェンジの位置等の検討に必要な「重視すべき事項」について5段階（特に重視すべき・やや重視すべき・どちらでもない・あまり重視すべきでない・重視する必要なし）で評価して下さい。

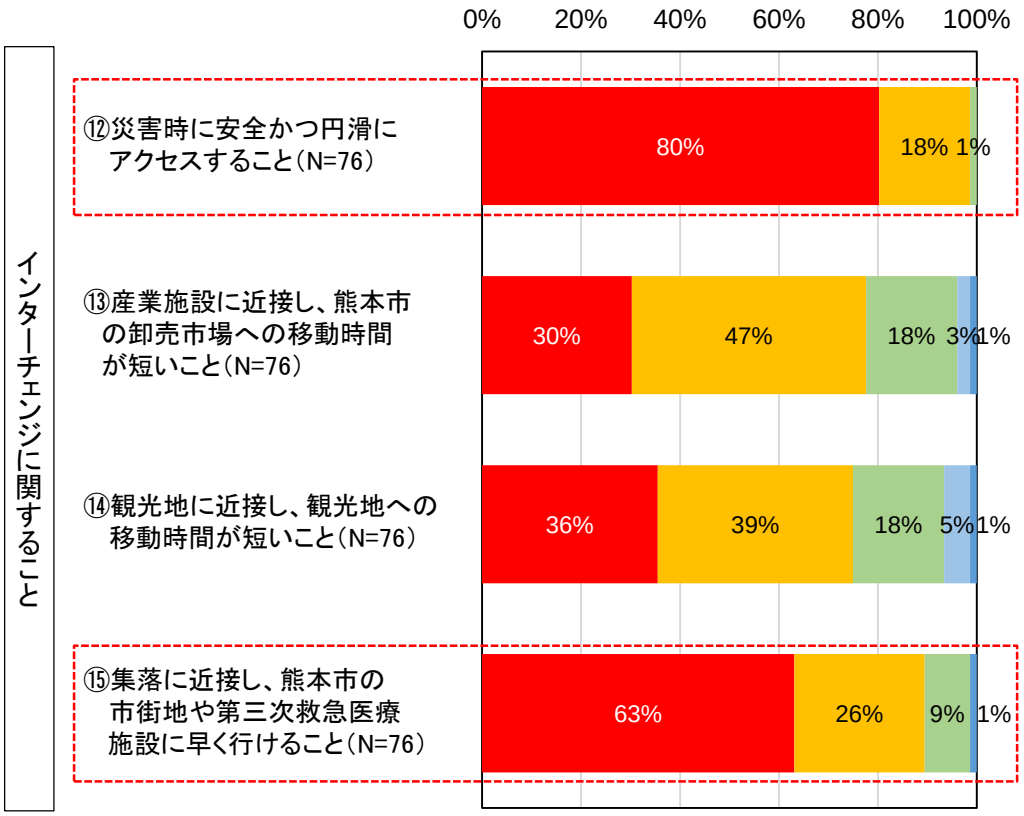


3－2. 第2回意見聴取の結果（インターチェンジに関すること）

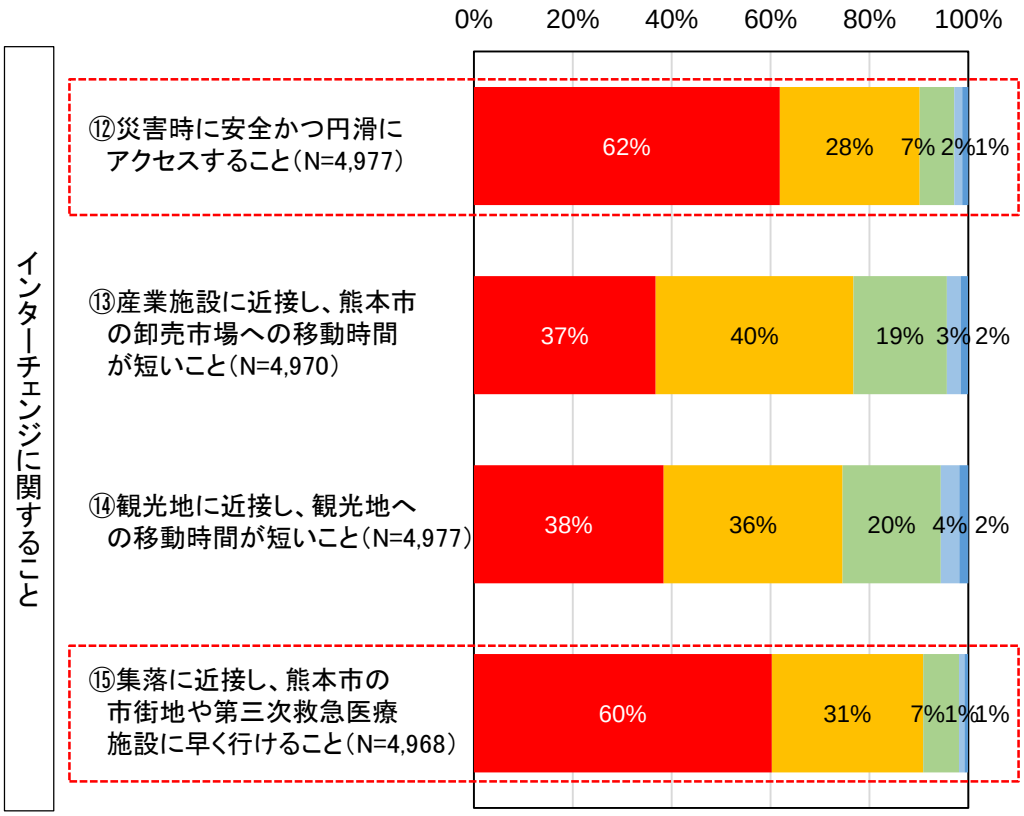
■インターチェンジに関しては、団体・企業、地域住民ともに、「⑫災害時に安全かつ円滑にアクセスすること」「⑮集落に近接し、熊本市の市街地や第三次救急医療施設に早く行けること」について重視すべきとの意見が概ね9割と多かった。

【質問2】インターチェンジの位置等の検討に必要な「重視すべき事項」について5段階（特に重視すべき・やや重視すべき・どちらでもない・あまり重視すべきでない・重視する必要なし）で評価して下さい。

【団体・企業（ヒアリング）】



【地域住民（住民アンケート・オープンハウス・留置き）】



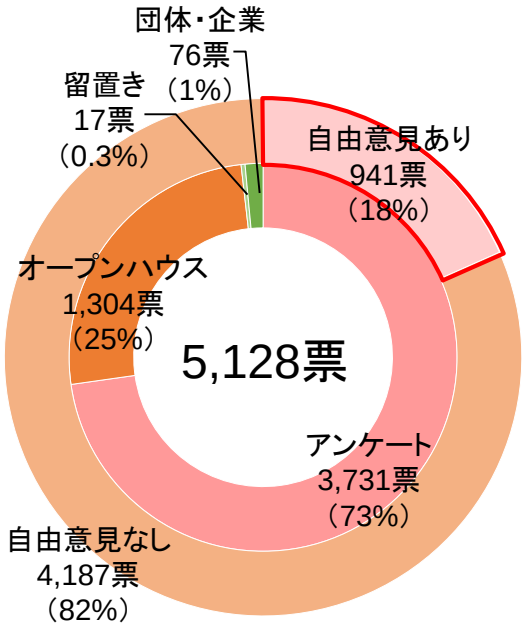
：意見聴取で重視、または配慮すべきとされている上位の項目

■特に重視すべき　■やや重視すべき　■どちらでもない　■あまり重視すべきではない　■重視する必要なし

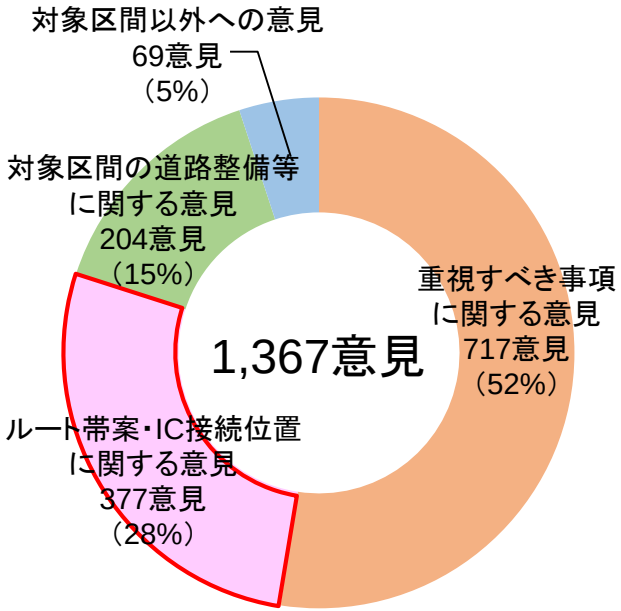
3－3. 意見聴取で寄せられた自由意見

■第2回意見聴取において、アンケート3,731票、オープンハウス1,304票、留置き17票、団体・企業ヒアリング76票、全5,128票の回収を行った。このうち、自由意見として941票（1,367意見）の意見が寄せられた。
■自由意見の内訳として、重視すべき事項に関する意見、ルート帯案・IC接続位置に関する意見が多かった。
■なお、ルート帯案に関する意見については377意見が寄せられた。

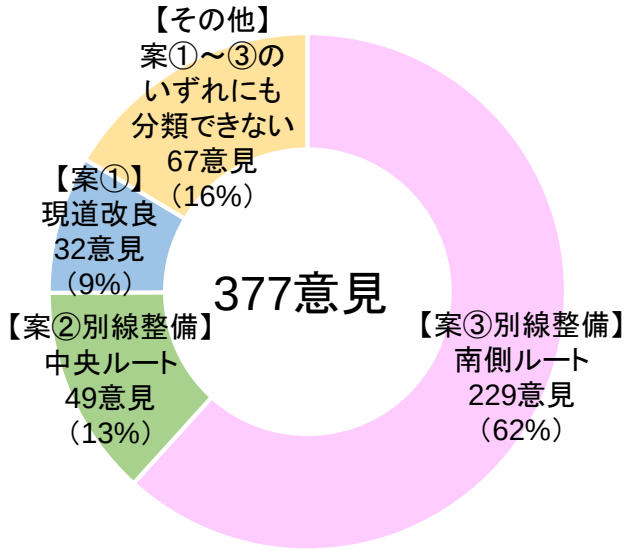
【意見聴取の回収状況】



【自由意見の内訳】



【ルート帯案に関する意見の内訳】



※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある

3－4. 対応方針（案）に関する意見＜自由意見：ルート帯案について「案①現道（国道57号）改良案」＞

■【案①】現道（国道57号）改良案に関する意見では、沿道利用や観光振興等の意見が多く寄せられた。

評価項目			項目	評価指標 ＜第2回意見聴取＞	評価 ＜第2回意見聴取＞	意見数	自由意見	評価変更箇所	評価変更理由
政策目標	防災	①	災害時に機能する信頼性の高い道路ネットワークの構築	災害時の代替路機能	・現道利用のため代替路が確保されない ・国道57号沿道の土砂災害警戒区域の影響は回避されない	2	・国道57号が4車線あれば、災害等の緊急時に早急な対応ができると思う。 ・案①で災害の不安がないようにして欲しい。	－	－
	産業・物流	②	走行性・速達性の向上による産業活動の支援	宇城・天草地域の産業施設※1から熊本市の卸売市場までの走行性	・現道の線形不良箇所を改良するため、走行性の向上が見込まれるが、交差点が存在するため効果は、案②、案③より小さい			－	－
				宇城・天草地域の産業施設※1から熊本市の卸売市場までの移動時間	・宇城地域から熊本市までの移動時間の短縮が図られるが、案②、案③より劣る ・天草地域から熊本市までの移動時間の短縮が図られるが、案②、案③より劣る			－	－
	観光	③	定時性・速達性の確保による観光振興の支援	観光地への移動時間 熊本市～天草地域の観光地（天草の崎津集落）	・天草地域への移動時間の短縮が図られるが、案②、案③より劣る	3	・国道57号の拡幅による利便性向上を図り、合わせて、自転車道整備による観光振興を望む。 ・天草への来訪客に海の景色を見てほしいため、案①を望む。 ・案②は御輿来海岸が見れず、山の土壌の関係から土砂災害も多くなると思うため、案①で海岸沿いが良い。	－	－
	暮らし	④	安全性・定時性・速達性の確保による生活利便性の向上	交通事故のリスクと事故発生時の迂回路機能	・通過交通が混在し、沿道出入箇所や交差点があるため、交通事故のリスクは懸念される ・事故発生時の迂回路は確保されないが、車線数が確保されるため、早期の復旧が期待できる			－	－
				宇城・天草地域※2から熊本市への移動時間	・宇城地域から熊本市までの移動時間の短縮が図られるが、案②、案③より劣る ・天草地域から熊本市までの移動時間の短縮が図られるが、案②、案③より劣る			－	－
	医療	⑤	走行性・速達性の向上による救急医療活動の支援	宇城・天草地域※3から熊本市内の第三次救急医療施設（済生会熊本病院）までの走行性・搬送時間	・線形不良箇所を改良するため走行性の向上が見込まれる ・宇城地域からの搬送時間の短縮が図られるが、案②、案③より劣る ・天草地域からの搬送時間の短縮が図られるが、案②、案③より劣る	1	・国道57号は、正月やお盆・観光シーズンに渋滞がひどく、緊急車両が来たらと考えると不安を感じるため4車線化を望む。	－	－
道路整備による影響	⑥		生活環境	大気質・騒音等	・集落の周辺を通過するため、生活環境に影響を与える可能性は案②よりも大きい			－	－
	⑦		自然環境	田畑・山地の改変	・田畑・山地の改変は少ない	2	・国道57号の拡幅は時間がかかるかも知れないが、集落に近く、自然等を破壊しないため良い。 ・山を切り開く場合、環境影響を最小限にするための事前調査など考慮すべき点が多いため、効果が見込めるのであれば国道57号の4車線化が一番良い。	－	－
	⑧		集落への影響	移転が必要となる家屋等の数	・沿道に隣接する家屋が多く、移転等は最も多い			－	－
	⑨		沿道利用	周辺からのアクセス利用	・国道57号沿道集落・施設からのアクセス性が高い	6	・バイパス整備の場合、国道57号沿線地域が衰退するため、4車線化が望ましい。（5件） ・案①、もしくは、案③が地域の発展のためにも良いと思う。	＜評価＞・国道57号沿道集落・施設からのアクセス性が高い ・国道266号沿線集落・施設からのアクセス性は低い	・案②、案③と同様に国道57号と国道266号の沿線集落・施設を平等に評価するため、評価を追記した
	⑩		段階的な効果の発現	発現の時期	・現道を改良するため、開通したところから効果発現が見込まれる	1	・国道57号を4車線化する方が段階的に交通の利便性が向上する。	－	－
	⑪		コスト	整備に要する費用	約800～850億円	1	・コストを重視すべきであり、4車線化は過剰投資である。	－	－
その他意見						16	・現道を拡幅（4車線化）する案①を望む。（13件） ・案①は地元調整や施工時における漁業活動への補償などの影響が見込まれるため、運用開始までの時間も考慮すべき。 ・今後の人口減少を見据えると、現道を4車線化する案①の方が効果が大きいと感じる。（2件）	－	－
合計						32			

□：意見聴取で重視、または配慮すべきとされている上位の項目

3－4．対応方針（案）に関する意見＜自由意見：ルート帯案について「案②別線整備案（中央ルート）」＞

■【案②】別線整備案（中央ルート）に関する意見では、代替路の確保や生活環境、沿道利用等の意見が多く寄せられた。

評価項目					評価 ＜第2回意見聴取＞	意見数	自由意見	評価変更箇所	評価変更理由
項目				評価指標 ＜第2回意見聴取＞					
政策目標	防災	①	災害時に機能する信頼性の高い道路ネットワークの構築	災害時の代替路機能	・別線整備により代替路が確保される ・一部、土砂災害警戒区域や高潮浸水想定区域を通過するが、構造物等により回避可能	5	・天草地域のことを考えると中央ルートがよく、災害時も第3の道があるため安心である。 ・案①は災害や事故時の代替路にならないため、案②か案③を望む。（2件） ・国道57号は、海と山に挟まれ逃げ場がないため、案②中央ルートを望む。 ・宇土も宇城も海側は災害のリスクがあるため、真ん中の案②が良い。	－	－
	産業・物流	②	走行性・速達性の向上による産業活動の支援	宇城・天草地域の産業施設※1から熊本市の卸売市場までの走行性	・現道の線形不良箇所を回避するため、走行性の向上が見込まれる			－	－
				宇城・天草地域の産業施設※1から熊本市の卸売市場までの移動時間	・宇城地域から熊本市までの移動時間の短縮が図られるが、案③より劣る ・天草地域から熊本市までの移動時間の短縮が図られる	1	・新道路沿いに新しい産業（特に農業関係）の展開、観光面の開発及びアクセスの短縮が望める事に期待し、案②を望む。	－	－
	観光	③	定時性・速達性の確保による観光振興の支援	観光地への移動時間 熊本市～天草地域の観光地（天草の崎津集落）	・天草地域への移動時間の短縮が図られる			－	－
	暮らし	④	安全性・定時性・速達性の確保による生活利便性の向上	交通事故のリスクと事故発生時の迂回路機能	・別線整備により現道の通過交通が減少するため、事故の発生リスクが減少するうえ、迂回路の確保により定時性の向上が見込まれる	2	・案①は景色は良いが、事故等の際に迂回路となる中央ルートが良い。 ・案①だと速度の早い車が増え、事故が多発する不安があるため、案②が良い。	－	－
				宇城・天草地域※2から熊本市への移動時間	・宇城地域から熊本市までの移動時間の短縮が図られるが、案③より劣る ・天草地域から熊本市までの移動時間の短縮が図られる			－	－
	医療	⑤	走行性・速達性の向上による救急医療活動の支援	宇城・天草地域※3から熊本市内の第三次救急医療施設（済生会熊本病院）までの走行性・搬送時間	・別線整備により走行性の向上が見込まれる ・宇城地域からの搬送時間の短縮が図られるが、案③より劣る ・天草地域からの搬送時間の短縮が図られる			－	－
道路整備による影響	⑥		生活環境	大気質・騒音等	・集落を概ね回避するため、生活環境に影響を与える可能性は小さい	4	・案②は費用は高いが、他案と比べ、海に面しておらず安全であり、家屋も少なく騒音も心配ないと考える。（2件） ・騒音などが少なくなる案②中央ルートを望む。（2件）	－	－
	⑦		自然環境	田畑・山地の改変	・概ね田畑・山地を通過し、主に田畑・山地の改変を伴うが、案③より山地部を通過するため、山地の改変が大きい。	1	・案②と案③は自然を破壊し、高低差により維持管理の費用がかかると思う。	－	－
	⑧		集落への影響	移転が必要となる家屋等の数	・集落・市街地を概ね回避するため、家屋の移転等は少ない	3	・他のルートに比べて家屋の影響が少ない案②が良い。（3件）	－	－
	⑨		沿道利用	周辺からのアクセス利用	・国道57号や国道266号沿線集落・施設からのアクセス性が低い	4	・案②は国道266号まで遠く、アクセスするインターチェンジの費用がかさむ。 ・案②中央ルートで、宇土半島の利便性を考慮しインターチェンジを複数設けることを望む。（2件） ・国道57号と国道266号へのアクセスを考えると案②が良い。	－	－
	⑩		段階的な効果の発現	発現の時期	・部分的な開通が困難なため、効果の発現は全線開通後となる			－	－
	⑪		コスト	整備に要する費用	約850～900億円	1	・少子高齢化時代のため、費用を抑え、無駄を省く整備を望む。案②を望む。	－	－
その他意見						28	・案②中央ルートを望む。（15件） ・案①は拡幅が大変と思うため、山間部を通過し、走行性・速達性が向上する案②を望む。 ・4車線化するために海側に拡幅するより、中央ルートを整備した方が良い。 ・案①は渋滞時の解消が見込めないため、案②か案③を望む。（7件） ・案①は整備に時間がかかり、案③は南側に偏りすぎるため、案②を望む。 ・案②、もしくは、案③を望む。（3件）	－	－
合計						49			

：意見聴取で重視、または配慮すべきとされている上位の項目

3－4．対応方針（案）に関する意見＜自由意見：ルート帯案について「案③別線整備案（南側ルート）」＞

■【案③】別線整備案（南側ルート）に関する意見では、沿道利用や代替路の確保等の意見が多く寄せられた。

評価項目					評価 ＜第2回意見聴取＞	意見数	自由意見	評価変更箇所	評価変更理由
項目				評価指標＜第2回意見聴取＞					
政策目標	防災	①	災害時に機能する信頼性の高い道路ネットワークの構築	災害時の代替路機能	・別線整備により代替路が確保される ・一部、土砂災害警戒区域や高潮浸水想定区域を通過するが、構造物等により回避可能	15	・国道57号の拡幅は、海沿いで災害時に影響が大きいと考えるため、案③が良い。 ・災害や緊急時の代替路として期待できる案③が良い。(6件) ・国道266号の代替道路としても利用できる案③が望ましい。(4件) ・案①は津波等で利用できない恐れがあるため、災害時に利用できる案③が良い。 ・案①は災害や事故時の代替路にならないため、案②か案③を望む。(2件) ・中央の山地部は積雪も考えられるため、防災を考えると南側ルートが良い。	－	－
	産業・物流	②	走行性・速達性の向上による産業活動の支援	宇城・天草地域の産業施設※1から熊本市の卸売市場までの走行性	・現道の線形不良箇所を回避するため、走行性の向上が見込まれる			－	－
				宇城・天草地域の産業施設※1から熊本市の卸売市場までの移動時間	・宇城地域から熊本市までの移動時間の短縮が最も図られる ・天草地域から熊本市までの移動時間の短縮が図られる	1	・沿線の産業施設等への経済的波及効果が望めそうな案③を希望する。	－	－
	観光	③	定時性・速達性の確保による観光振興の支援	観光地への移動時間 熊本市～天草地域の観光地（天草の崎津集落）	・天草地域への移動時間の短縮が図られる			－	－
	暮らし	④	安全性・定時性・速達性の確保による生活利便性の向上	交通事故のリスクと事故発生時の迂回路機能	・別線整備により現道の通過交通が減少するため、事故の発生リスクが減少するうえ、迂回路の確保により定時性の向上が見込まれる	6	・道路整備により走りやすくなるため、沿道から入った際のスピードの違いによる事故が心配であるが、住民の利便は良い方がいいので案③を望む。 ・事故発生時の迂回路として利用できる案③が良い。(2件) ・国道57号の代替路として整備した方が交通分散が図れ、案②よりも現道とのアクセス性が高い案③を望む。(2件) ・三角に通勤しているが、事故にあった時は全く進まず、職場のみんなで情報を交換しながらルートを選んでいる。案③が良い。	－	－
				宇城・天草地域※2から熊本市への移動時間	・宇城地域から熊本市までの移動時間の短縮が最も図られる ・天草地域から熊本市までの移動時間の短縮が図られる			－	－
	医療	⑤	走行性・速達性の向上による救急医療活動の支援	宇城・天草地域※3から熊本市内の第三次救急医療施設（済生会熊本病院）までの走行性・搬送時間	・別線整備により走行性の向上が見込まれる ・宇城地域からの搬送時間の短縮が最も図られる ・天草地域からの搬送時間の短縮が図られる	3	・高齢の親が熊本市内の病院に通っているため、国道266号にアクセスしやすい案③を望む。 ・緊急車両の走行等を考えると最も時間短縮が望まれ、さらに、生活の利便性を考慮すると案③が良い。 ・災害時救急時に早く行けることを重視すべきと考えるため、ルートやインターチェンジは集落に近接すべきと考える。案③を望む。	－	－
道路整備による影響	⑥		生活環境	大気質・騒音等	・集落の周辺を通過するため、生活環境に影響を与える可能性は案②よりも大きい			－	－
	⑦		自然環境	田畑・山地の改変	・概ね田畑・山地を通過し、主に田畑・山地の改変を伴う	1	・案②と案③は自然を破壊し、高低差により維持管理の費用がかかると思う。	－	－
	⑧		集落への影響	移転が必要となる家屋等の数	・集落の周辺を通過するため、案②より家屋の移転等は多い			－	－
	⑨		沿道利用	周辺からのアクセス利用	・国道57号沿線集落・施設からのアクセス性は低い ・沿線集落、施設が集積する国道266号からのアクセス性は高い	21	・国道266号、宇城市にもアクセスしやすい案③を望む。(9件) ・ただ通過するための道路は、天草や熊本の人には良いが、沿線地域の活性化を考えると案③が良い。(7件) ・今後も地元に住んでいたいと思うため、集落への近接性が最も良い案③を望む。 ・案③は、市街地・集落が近く、アクセス性が高いため良いと思う。 ・国道57号に代わる道路として、集落へのアクセス性も考慮し、案②より案③が良い。 ・案①、もしくは、案③が地域の発展のためにも良いと思う。 ・集落や産業施設へのアクセスがあり、自動車専用道路の案③が良い。	－	－
	⑩		段階的な効果の発現	発現の時期	・部分的な開通が可能なため、段階的に効果発現が見込まれる	1	・案③は途中でも最も事業効果が出る道路と感じ、インターチェンジが2箇所くらいつけば、宇土市にも宇城市にも効果があるように感じる。	－	－
	⑪		コスト	整備に要する費用	約700～750億円	8	・直接関係ない宇城市民として、費用を安くしてほしいため、案③を望む。 ・費用が最も安い案③が良いと思う。(5件) ・税金を使って作るのであれば、集落への近接性を考慮し、かつ、最も安い案③が良いと思う。 ・案①は代替路がなく費用も高く、案②は費用が高いため、案③が良いと思う。	－	－
その他意見						173	・案③南側ルートを望む。(149件)　・案②、もしくは、案③を望む。(3件) ・渋滞時の解消が期待できる案③を望む。(2件)　・案①は渋滞時の解消が見込めないため、案②か案③を望む。(7件) ・費用対効果が最も良いと考えられる案③が良い。　・案③で九州自動車道へのアクセス向上を望む。 ・国道266号と接続する案③を望む。また、インターチェンジは宇城市三角町郡浦付近を望む。 ・松橋インターチェンジ方面とのアクセス性も考慮すると案③が良いと思う。(3件) ・福岡や鹿児島方面からのアクセスを考えると松橋インターチェンジ経由になるため、南側ルートでインターチェンジは宇城市三角町郡浦付近が良い。 ・案③で将来は松橋インターチェンジにも接続して欲しい。(3件) ・国道57号沿いは現状と変わらず、山の中だと住民の利便性がない。また、熊本方面は松橋経由であるため、案③が望ましい。 ・国道57号の拡幅よりもバイパス整備を望み、国道266号に接続する案③が良い。	－	－
合計						229			

：意見聴取で重視、または配慮すべきとされている上位の項目

3－4．対応方針（案）に関する意見＜自由意見：その他ルート帯案について、インターチェンジに関すること＞

■【その他】案①～案③のいずれにも分類できないものやインターチェンジの接続位置に関するもの。

評価項目					意見数	自由意見
項目				評価指標 ＜第2回意見聴取＞		
政策目標	防災	①	災害時に機能する信頼性の高い道路ネットワークの構築	災害時の代替路機能	11	・バイパス（代替路線）として整備して欲しい。（9件） ・インターチェンジの位置は災害時に安全に行けて、数も多い方がいいと思う。 ・国道266号の代替路として機能するルートを望む。
政策目標	産業・物流	②	走行性・速達性の向上による産業活動の支援	宇城・天草地域の産業施設※1から熊本市の卸売市場までの走行性	1	・地域の特産物に配慮して整備して欲しい。
政策目標	産業・物流	②	走行性・速達性の向上による産業活動の支援	宇城・天草地域の産業施設※1から熊本市の卸売市場までの移動時間		
政策目標	観光	③	定時性・速達性の確保による観光振興の支援	観光地への移動時間 熊本市～天草地域の観光地（天草の崎津集落）	5	・観光地として、移動時間が長いと一日を費やすため、最短ルートを整備して欲しい。 ・観光面から海沿いの整備を望む。 ・山の上を通過すれば眺めもよく、観光面でもプラスになる。 ・宇土マリーナを通り、宇城市三角町の重要ポイント(集落、観光地)を通るルートを希望する。 ・観光目的の利用が多いのではないかと考えるため、商業施設が少ない地方の地域にとってインターチェンジ位置は観光客誘致に重要である。
政策目標	暮らし	④	安全性・定時性・速達性の確保による生活利便性の向上	交通事故のリスクと事故発生時の迂回路機能		
政策目標	暮らし	④	安全性・定時性・速達性の確保による生活利便性の向上	宇城・天草地域※2から熊本市への移動時間	1	・上天草市や宇城市三角町に居住していても、熊本市内へ通勤圏内になるよう(逆も然り)ルートを希望する。
政策目標	医療	⑤	走行性・速達性の向上による救急医療活動の支援	宇城・天草地域※3から熊本市内の第三次救急医療施設（済生会熊本病院）までの走行性・搬送時間	2	・熊本市内へ病院受診や買い物に行くため、国道266号の郡浦付近にインターチェンジを設置して欲しい。 ・移動時間が短いと病人も助かるため、インターチェンジの位置は集落に近い方が良い。
道路整備による影響	⑥		生活環境	大気質・騒音等		
道路整備による影響	⑦		自然環境	田畑・山地の改変		
道路整備による影響	⑧		集落への影響	移転が必要となる家屋等の数		
道路整備による影響	⑨		沿道利用	周辺からのアクセス利用	22	・国道57号と266号からアクセスできる道路が欲しい。（5件） ・集落への接近性等を考慮すべきであり、ただ通過するだけのルートは地元としてはいらないと思う。 ・宇土半島のより多くの人が利用できるようなルート及びインターチェンジ位置を検討して欲しい。 ・国道266号側からアクセスが容易に出来るルートが良い。（7件） ・宇土市赤瀬町（宇土マリーナ付近）、宇城市三角町郡浦にインターチェンジを設置しないと地域が疲弊していく。（2件） ・宇土マリーナを通過しないと宇土市網田町が疲弊する。 ・三角駅前付近は衰退しているので、三角駅方面にもインターチェンジを設置して欲しい。 ・国道57号からアクセスしやすいインターチェンジを望む。 ・高速化は大事だが、観光面への配慮と上天草市の松島は幹線道路が整備されたことで寂れてしまったため、当該区間もそのようにならないようにインターチェンジ位置など配慮して欲しい。 ・防災・医療、日々の暮らしの環境を考慮し、インターチェンジへのアクセスは円滑に出来ることを望む。 ・三角町の住民や産業施設の利用を考えたインターチェンジの位置が重要だと思う。
道路整備による影響	⑩		段階的な効果の発現	発現の時期		
道路整備による影響	⑪		コスト	整備に要する費用	1	・移動時間や建設に要するコスト、沿線人口(インターから集落に近いこと)を考慮し、バランスのとれたルート、およびインターチェンジの位置の検討を望む。
その他意見					24	・集落に近接しすぎると渋滞が発生する。 ・高速道路と同じような役割を担って欲しい。（2件） ・インターチェンジ付近で混雑が発生しないようにして欲しい。（4件） ・宇土市松山より宇城市不知火町浦上を通り、三角へ半島の中心（山の中）をスカイラインとして車道、自転車道などの車線区分した観光重視の開発を望む。 ・自動車専用道路の整備を望む。（3件） ・天草までの最短ルートを整備して欲しい。（3件） ・案①では大幅な改善は見込めず、案②では地元住民の利便性が確保できず、案③では高速道利用者の利便性が低下する。 ・宇城市三角町郡浦付近にインターチェンジを設置して欲しい。 ・国道266号にインターチェンジを設置して欲しい。 ・宇土マリーナにインターチェンジを設置して欲しい。（2件） ・インターチェンジから出た後のこともよく検討して欲しい。 ・インターチェンジについては宇城市三角町に1ヶ所あれば事足りると思う。 ・インターチェンジは複数設置して欲しい。 ・熊本～天草の通過点に過ぎないので、インターチェンジは最低限にし、シンプルに過疎地を通して時間短縮を図るのが良いと思う。 ・今後の人口減少により、これまで同様の税収は見込まれないため、様々な要望項目を満たすルートではなく、本当に必要なルートを設定して欲しい。
合計					67	

：意見聴取で重視、または配慮すべきとされている上位の項目

3－5. 自治体への意見聴取結果

■自治体への意見聴取結果【熊本県】

最適なルート帯およびインターチェンジの接続位置の検討に必要な「重視すべき事項」について				意　見（熊本県）
政策目標	防災	①	災害時に国道57号や国道266号の代替路として利用できること	・国道57号や国道266号においては、土砂災害等の発生により度々通行止めが発生し、災害時における救急搬送や災害対応に支障がでている。本県では令和2年7月豪雨により、国道219号や国道3号が通行止めとなり、九州縦貫自動車道や南九州西回り自動車道がその代替路として非常に大きな役割を果たしたため、宇土～三角間のリダンダンシーの確保のためにも別ルートとして整備されることが望ましい。
	産業・物流	②	産業施設から熊本市への移動時間が短いこと、走りやすく揺れによる品質低下のリスクが少ないこと	・天草地域の農産物や水産物は全国に陸送されており、輸送時の品質保持や販路拡大、輸送コスト縮減を図るため、走行性・速達性の高いルート帯が望ましい。
	観光	③	観光地への移動時間が短いこと	・宇城・天草地域は、世界遺産に登録された「三角西港」や「天草の﨑津集落」などの魅力ある観光地があり、毎年約500万人の観光客が訪れる熊本県を代表する観光地である。大型連休や観光シーズンなどには、著しい渋滞が発生している状況であり、定時性・速達性の高い観光ルートの確保のためにも、移動時間が短縮できるルート帯が望ましい。
	暮らし	④	事故の危険性が少ないこと、事故発生時に迂回路として利用できること	・今回対象の区間は、線形不良箇所が多いため、正面衝突などの交通事故が発生している。また、並行する幹線道路がないため、交通事故が発生した際には長時間の通行止めが生じており、救急搬送や住民生活に支障を来している。このため、安全性が高く、迂回路としても利用できるルート帯が望ましい。
		④	熊本市へ早く行けること	・宇城・天草地域から熊本市内への移動は、車での移動が大半であるが、今回対象地域は迂回路がなく、国道57号が唯一の幹線道路であるため、連休や観光シーズン時の渋滞や、事故等による通行止めが発生した場合に、熊本市までの移動に支障を来している状況。このため、熊本市までの定時性・速達性を確保できるルート帯が望ましい。
	医療	⑤	熊本市の第三次救急医療施設へ早く行けること、搬送時の走行性が良く、患者への負担が小さいこと	・天草地域の救急患者は、熊本市内の第三次救急医療施設へ搬送されているが、長時間の搬送や搬送時の揺れが患者の負担となっている。このため、救急医療施設への走行性・速達性を確保できるルート帯が望ましい。
道路整備による影響	⑥		生活環境（騒音など）への影響が小さいこと	・騒音や大気質等の生活環境に十分配慮し、極力影響が小さいルート帯が望ましい。
	⑦		自然環境（田畑・山地の改変など）への影響が小さいこと	・自然環境（田畑・山地の改変など）に影響を与える可能性があるため、極力影響が小さいルート帯が望ましい。
	⑧		移転する家屋が少ないこと	・家屋移転が多くなると地域コミュニティに影響を及ぼすことや、家屋移転に不測の時間を要する可能性があることから、家屋移転がなるべく少ないルート帯が望ましい。
	⑨		沿道からの利用が便利なこと	・高速交通ネットワークの一部として、速達性・安全性の高い道路が必要であると考えているため、沿道からインターチェンジ等を介して利用できることが望ましい。
	⑩		段階的な整備効果が望めること	・インターチェンジ間の部分開通を含め、早期に事業効果が発現されるルート帯が望ましい。
	⑪		整備費用が安いこと	・整備費用については、より経済的な構造を検討するなど、コスト縮減を図ることが望ましい。
インターチェンジに関すること	⑫		災害時に安全かつ円滑にアクセスすること	・現道が被災した際にも救援・物資輸送機能を果たせるよう、安全で円滑にアクセスできるインターチェンジの位置が望ましい。
	⑬		産業施設に近接し、熊本市の卸売市場への移動時間が短いこと	・商品の品質保持や輸送効率の向上による地域産業の支援のため、産業施設からインターチェンジへのアクセスが良好な位置が望ましい。
	⑭		観光地に近接し、観光地への移動時間が短いこと	・宇城・天草地域は世界遺産に登録された「三角西港」や「天草の﨑津集落」などの魅力ある観光地があり、観光地間のアクセスの向上により周遊化が図られるため、観光地の近傍にインターチェンジが配置されることが望ましい。
	⑮		集落に近接し、熊本市の市街地や第三次救急医療施設に早く行けること	・生活利便性の向上や救急医療活動の支援のためにも、集落から速やかにアクセスできる位置にインターチェンジを配置することが望ましい。
その他の意見				・熊本天草幹線道路は、県内の幹線道路ネットワークの横軸をなし、天草・宇城地域の振興に不可欠な道路である。 ・また、平成14年度に策定した「熊本県の道路整備に関する中長期計画」において、県内各圏域の交流・連携を支援する施策として「90分構想」を位置付け推進している。 ・唯一、未達成となっている天草地域の「90分構想」実現には、今回対象区間の早期整備が有効であることなどから、計画段階評価を早期に完了させ、事業化することを願う。 ・なお、本県としても、事業化に向けて様々な調査等に協力していく考えである。

3－5. 自治体への意見聴取結果

■自治体への意見聴取結果【宇土市】

最適なルート帯およびインターチェンジの接続位置の検討に必要な「重視すべき事項」について				意　見（宇土市）
政策目標	防災	①	災害時に国道57号や国道266号の代替路として利用できること	・災害時におけるリダンダンシーの確保の観点から代替道路としての利用を特に重要視すべきと考える。
政策目標	産業・物流	②	産業施設から熊本市への移動時間が短いこと、走りやすく揺れによる品質低下のリスクが少ないこと	・農水産業が盛んな地域的特性上、本道路は農水産物の輸送に使用されることが想定されるため、輸送時間の短縮や走行性の向上を重視すべきである。
政策目標	観光	③	観光地への移動時間が短いこと	・観光地へのアクセス性向上や整備による交通転換により、現道の国道57号の渋滞が緩和されることを期待する。
政策目標	暮らし	④	事故の危険性が少ないこと、事故発生時に迂回路として利用できること	・通常時でも災害時でも事故の危険性が少ない道路であることを期待する。
政策目標	暮らし	④	熊本市へ早く行けること	・農産物の輸送時間、救急医療施設へのアクセス時間に加え、通勤・通学時間等の短縮にもつながるため、熊本市への移動時間短縮は重視すべきである。
政策目標	医療	⑤	熊本市の第三次救急医療施設へ早く行けること、搬送時の走行性が良く、患者への負担が小さいこと	・第三次救急医療施設へのアクセスは、人命救助の観点から重要である。
道路整備による影響	⑥		生活環境（騒音など）への影響が小さいこと	・地域住民の影響が最小限となるように検討を望む。
道路整備による影響	⑦		自然環境（田畑・山地の改変など）への影響が小さいこと	・自然環境（田畑・山地の改変など）への影響が、極力小さいルート帯が望ましい。
道路整備による影響	⑧		移転する家屋が少ないこと	・移転家屋が少ないことはもちろんのこと、道路建設により集落の分断が発生しないように配慮していただきたい。
道路整備による影響	⑨		沿道からの利用が便利なこと	・インターチェンジを利用して、沿道の住民がアクセスしやすい道路であることを望む。
道路整備による影響	⑩		段階的な整備効果が望めること	・全線早期開通を重視しつつも、整備完了区間については、段階的に利用できるようにしていただきたい。
道路整備による影響	⑪		整備費用が安いこと	・整備費用の安さも重要な要素となり得るが、整備後の効果やその他の影響等を総合的に勘案し、ルートを決定してほしい。
インターチェンジに関すること	⑫		災害時に安全かつ円滑にアクセスすること	・災害の代替道路としての位置づけを重要視するため、インターチェンジ位置についても特に重視すべきと考える。
インターチェンジに関すること	⑬		産業施設に近接し、熊本市の卸売市場への移動時間が短いこと	・農水産業が盛んであるという地域特性上、産業施設への近接することを重視すべきと考える。
インターチェンジに関すること	⑭		観光地に近接し、観光地への移動時間が短いこと	・天草地域の観光地へのアクセス性向上や整備による交通転換により、現道の国道57号の渋滞が緩和されることを期待する。
インターチェンジに関すること	⑮		集落に近接し、熊本市の市街地や第三次救急医療施設に早く行けること	・利便性の観点から、インターチェンジは集落に近接していることが望ましい。
その他の意見				・早期の事業完了を望む。

3－5. 自治体への意見聴取結果

■自治体への意見聴取結果【宇城市】

最適なルート帯およびインターチェンジの接続位置の検討に必要な「重視すべき事項」について				意　見（宇城市）
政策目標	防災	①	災害時に国道57号や国道266号の代替路として利用できること	・土砂災害警戒区域等を回避する道路整備を進めることで、有事の際は緊急輸送道路として利用できることが望ましい。 また、国道266号の一部は、大雨と満潮が重なったときに道路冠水が発生し、東西の往来が寸断される事態が生じているので代替路の確保の必要性が高い。
政策目標	産業・物流	②	産業施設から熊本市への移動時間が短いこと、走りやすく揺れによる品質低下のリスクが少ないこと	・三角町戸馳島の洋ランや宿根かすみ草等、輸送時の品質管理に細心の注意が必要な産物については、走行性に優れた道路の整備により短時間で、かつ安全に輸送できることが重要である。 ・熊本市を経由し全国に出荷されている不知火海の海産物（コハダ等）の輸送は、鮮度維持のため速達性、走行性に優れたルートが求められる。
政策目標	観光	③	観光地への移動時間が短いこと	・観光地間の移動時間短縮により、天草、宇城・宇土、熊本の周遊ルートを構築することで、県内外からの人流増加が期待できる。
政策目標	暮らし	④	事故の危険性が少ないこと、事故発生時に迂回路として利用できること	・国道57号、国道266号は交通分散により、事故の発生リスク低下が見込める。 ・また、宇土半島の不知火海に面した地域は、国道266号が集落間をつなぐ道路となっているため、事故の発生により交通が寸断されたときは迂回路として利用できることを期待する。
政策目標	暮らし	④	熊本市へ早く行けること	・熊本市への通勤・通学時間短縮により、ベッドタウンとしての定住・移住策が進められる。
政策目標	医療	⑤	熊本市の第三次救急医療施設へ早く行けること、搬送時の走行性が良く、患者への負担が小さいこと	・救急搬送時の走行性の向上と搬送時間の短縮は、患者の心身の負担軽減につながる。また、災害発生時等の非常時は、人命救助にもつながる。
道路整備による影響	⑥		生活環境（騒音など）への影響が小さいこと	・集落に近接する場合は、騒音への対策を考慮していただきたい。
道路整備による影響	⑦		自然環境（田畑・山地の改変など）への影響が小さいこと	・山地では、自然環境への影響を考慮していただきたい。
道路整備による影響	⑧		移転する家屋が少ないこと	・家屋の移転を伴う用地買収は、地権者の心理的負担が大きく、費用と時間も多く必要とするので、移転する家屋はより少ないほうが望ましい。
道路整備による影響	⑨		沿道からの利用が便利なこと	・[案③]別線整備案（南側ルート）は、国道266号とアクセスすることで沿道の集落や公共施設等の利用が便利になるため期待している。
道路整備による影響	⑩		段階的な整備効果が望めること	・交通環境の整備による地域の人口増加に期待するところが大きいので、早期に効果が発現する部分的な開通が可能なルート案とインターチェンジの設置が望ましい。
道路整備による影響	⑪		整備費用が安いこと	・整備コストを抑えたルートの選定や道路計画を進めていただきたい。
インターチェンジに関すること	⑫		災害時に安全かつ円滑にアクセスすること	・災害発生の危険性が低く、沿線地域から円滑にアクセスできる位置にインターチェンジがあれば、災害時の緊急輸送道路として大きく期待できる。
インターチェンジに関すること	⑬		産業施設に近接し、熊本市の卸売市場への移動時間が短いこと	・三角町戸馳島の花き集荷所など、農産物の物流拠点やコハダ等海産物の漁港は宇土半島の南側に集中しているため、輸送時間を短縮するにはインターチェンジがより近くに位置する方がアクセスしやすい。
インターチェンジに関すること	⑭		観光地に近接し、観光地への移動時間が短いこと	・観光地の保全と周辺地域への波及効果、観光シーズンの渋滞を考慮したうえで、観光地との距離を適度に保った位置にインターチェンジが設置されることを期待する。
インターチェンジに関すること	⑮		集落に近接し、熊本市の市街地や第三次救急医療施設に早く行けること	・熊本市に通勤、通学、通院する市民が多く、地域の生活利便性向上のため、インターチェンジは集落に近接し、アクセスが簡便な位置に設置されることを望みます。
その他の意見				・熊本天草間の移動時間短縮と同時に、宇土半島南側の地域から熊本・天草までの移動時間短縮により地域の生活利便性を向上する道路、さらに災害時にも強く、被災した地域の救援に役立つ道路の整備を進めていただきたい。

3－5. 自治体への意見聴取結果

■自治体への意見聴取結果【上天草市】

最適なルート帯およびインターチェンジの接続位置の検討に必要な「重視すべき事項」について				意　見（上天草市）
政策目標	防災	①	災害時に国道57号や国道266号の代替路として利用できること	・災害時に代替路として利用できることは大変重要なことであり、計画策定に考慮してほしい内容である。
政策目標	産業・物流	②	産業施設から熊本市への移動時間が短いこと、走りやすく揺れによる品質低下のリスクが少ないこと	・走行時の品質低下のリスク解消については、活魚や新鮮な野菜等を出荷するうえで、重要な内容であるため、是非、計画策定において考慮して欲しい。
政策目標	観光	③	観光地への移動時間が短いこと	・天草地域住民の休日の過ごし方の選択肢が増え、住民生活の質の向上が図られる。
政策目標	暮らし	④	事故の危険性が少ないこと、事故発生時に迂回路として利用できること	・移動時の安全性の向上は誰もが望むことであって、安心安全な生活のためには大変重要なことであると考える。
政策目標	暮らし	④	熊本市へ早く行けること	・買い物等においても熊本市でしか入手できない商品も多く、熊本市へ早く行けることは天草地域住民が切望するところである。
政策目標	医療	⑤	熊本市の第三次救急医療施設へ早く行けること、搬送時の走行性が良く、患者への負担が小さいこと	・第三次救急医療施設への移動時間の短縮は、天草地域住民が安心安全な生活を送るために必要なものであると捉える。
道路整備による影響	⑥		生活環境（騒音など）への影響が小さいこと	・生活環境への影響は、配慮した方が望ましいと考える。
道路整備による影響	⑦		自然環境（田畑・山地の改変など）への影響が小さいこと	・自然環境への影響についても、配慮した方が望ましいと考える。
道路整備による影響	⑧		移転する家屋が少ないこと	・道路整備による影響は、なるべく影響が少ない方が良いと考える。
道路整備による影響	⑨		沿道からの利用が便利なこと	・沿道からの利用が便利なことについては、隣接する地区住民が切望するものである。
道路整備による影響	⑩		段階的な整備効果が望めること	・道路整備において、整備完了区間については段階的に利用できるようにして欲しい。
道路整備による影響	⑪		整備費用が安いこと	・整備内容が将来へも影響し続けることから、費用に捉われない計画を策定して欲しい。
インターチェンジに関すること	⑫		災害時に安全かつ円滑にアクセスすること	・近年は想定ができないほどの規模の大きい災害が全国で発生しているため、大規模災害を考慮した整備計画として欲しい。
インターチェンジに関すること	⑬		産業施設に近接し、熊本市の卸売市場への移動時間が短いこと	・インターが熊本市の卸売市場へ近いことは、天草地域産業の発展に寄与するものである。
インターチェンジに関すること	⑭		観光地に近接し、観光地への移動時間が短いこと	・天草地域住民の生活を考えた時、観光地への移動時間についても短い方が良いと考える。
インターチェンジに関すること	⑮		集落に近接し、熊本市の市街地や第三次救急医療施設に早く行けること	・天草住民の安心安全な生活を考えるうえで、第三次救急医療施設へ早く行けることは大変重要なものである。
その他の意見				・災害時に代替路として利用できることは大変重要なことであり、計画策定に考慮してほしい内容である。

3－5. 自治体への意見聴取結果

■自治体への意見聴取結果【天草市】

最適なルート帯およびインターチェンジの接続位置の検討に必要な「重視すべき事項」について				意　見（天草市）
政策目標	防災	①	災害時に国道57号や国道266号の代替路として利用できること	・国道57号、266号は、豪雨時の土砂流出や冠水等により被災することが多々あり、天草地域は一時的な孤立も経験している。本線は災害時の代替路として大きな役割を果たすとともに、緊急物資の輸送など防災道路としての役割も大きい。
政策目標	産業・物流	②	産業施設から熊本市への移動時間が短いこと、走りやすく揺れによる品質低下のリスクが少ないこと	・天草地域から福岡や関西などの大規模商圏へ、農産物や海産物の鮮度を維持した状態で安全に搬送するには、効率的な陸上輸送ルートの確立が必要不可欠である。また、高規格道路による移動時間の短縮は販路拡大とともに収益増加にも繋がる。
政策目標	観光	③	観光地への移動時間が短いこと	・熊本・天草間の時間的な短縮により、世界文化遺産の﨑津集落を核とした、道の駅や富岡城など天草観光の周遊化促進が図られる。 ・天草地域においては、現在、サイクルツーリズムの推進を図っており、安全な通行空間の確保によるサイクリストの増加に期待している。
政策目標	暮らし	④	事故の危険性が少ないこと、事故発生時に迂回路として利用できること	・国道57号で交通事故が発生した場合、効率的な迂回路がないため、ひどい渋滞に巻きこまれ重要な会議や電車・飛行機などに間に合わない場合もある。本線整備により定時性の向上が期待できる。
政策目標	暮らし	④	熊本市へ早く行けること	・高規格道路の整備促進により、天草地域からの通勤圏が拡大することで就業の選択肢が増え、生活環境の改善に繋がる。
政策目標	医療	⑤	熊本市の第三次救急医療施設へ早く行けること、搬送時の走行性が良く、患者への負担が小さいこと	・時短や走行性の向上により、搬送時における患者への負担軽減が図られ、救急医療の信頼性が高まり、安全・安心な医療サービスの向上に繋がる。
道路整備による影響	⑥		生活環境（騒音など）への影響が小さいこと	・道路の整備計画では、生活環境への影響を最小限に抑える工夫が重要となるため、ルートは、できる限り住宅地から離れた場所に選定して欲しい。
道路整備による影響	⑦		自然環境（田畑・山地の改変など）への影響が小さいこと	・地域の豊かな自然環境は後世に引き継ぐべき重要な資産であることから、自然環境や地域景観に配慮したルート設定に努めて欲しい。
道路整備による影響	⑧		移転する家屋が少ないこと	・道路計画に当たっては、安全性、施工性とともに、経済性、困難性が重要な要素となる。家屋移転が多くなれば、困難性や経済性が高まることから、できる限り家屋移転を回避するルート選定をして欲しい。
道路整備による影響	⑨		沿道からの利用が便利なこと	・特になし
道路整備による影響	⑩		段階的な整備効果が望めること	・宇土三角間（約12km）の整備完了には、かなりの期間を要することが想定されるため、整備効果が早期に実感できる段階的整備が望ましい。
道路整備による影響	⑪		整備費用が安いこと	・経済性は、道路整備にかかわらず公共施設事業において最も需要な要素となるため、計画においては十分検討して欲しい。
インターチェンジに関すること	⑫		災害時に安全かつ円滑にアクセスすること	・インターチェンジ付近で災害が発生し本線の利用ができないようではもともこもない。新たなインターチェンジは安全で利便性に優れた場所に計画して欲しい。
インターチェンジに関すること	⑬		産業施設に近接し、熊本市の卸売市場への移動時間が短いこと	・特になし
インターチェンジに関すること	⑭		観光地に近接し、観光地への移動時間が短いこと	・特になし
インターチェンジに関すること	⑮		集落に近接し、熊本市の市街地や第三次救急医療施設に早く行けること	・特になし
その他の意見				・熊本天草幹線道路は、熊本都市圏と宇城・天草地域を結び、熊本県内の高速ネットワークを形成する重要な路線であるとともに、「90分構想」を唯一達成していない天草地域にとって最優先の課題となっている。 ・天草地域では、本線の一部である本渡道路の開通を見据えた、拠点整備にも取り組んでおり、道路ネットワークの充実は基より、産業や観光の振興、地域経済の発展など大いに期待を寄せている。 ・また、自然災害が多発する近年、災害時におけるリダンダンシーの確保や定時性の向上において、「熊本宇土道路」「宇土道路」「大矢野道路」「本渡道路」の早期完成とともに、「宇土～三角間」の早期事業化は最も優先すべき取り組みと考えている。 ・天草地域住民の実情を理解いただき、熊本天草幹線道路の整備促進についても特段の配慮を願う。

3－5. 自治体への意見聴取結果

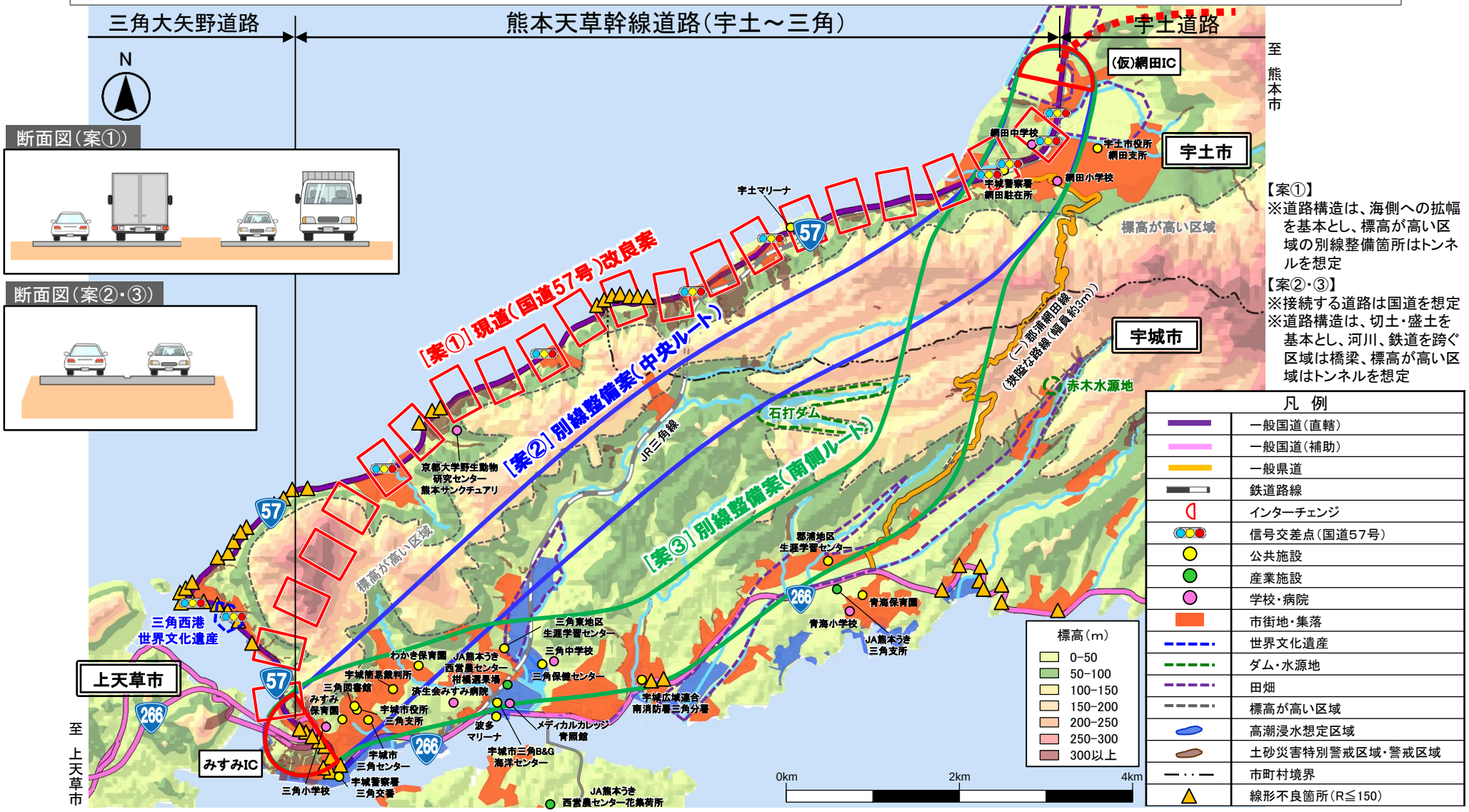
■自治体への意見聴取結果【苓北町】

最適なルート帯およびインターチェンジの接続位置の検討に必要な「重視すべき事項」について				意　見（苓北町）
政策目標	防災	①	災害時に国道57号や国道266号の代替路として利用できること	・近年は自然災害が頻発しており、天草地域が孤立する恐れがあるため、緊急時に天草地域から熊本方面へ利用できるよう、被災時にも代替路となる道路が必要と考える。
政策目標	産業・物流	②	産業施設から熊本市への移動時間が短いこと、走りやすく揺れによる品質低下のリスクが少ないこと	・効果的に企業誘致を進めるため、道路網の整備・進展など充実した交通インフラを構築することが重要である。
政策目標	観光	③	観光地への移動時間が短いこと	・天草地域の豊富な観光資源を最大限に活かすため、道路交通アクセスの利便性を高めることが極めて重要である。
政策目標	暮らし	④	事故の危険性が少ないこと、事故発生時に迂回路として利用できること	・天草地域からの商品の輸送時や天草地域へ向かう観光客、熊本方面へ移動中の苓北町民など、道路利用者の安全の確保のためにも事故の危険性が少ないほうが望ましい。また、現在は国道57号や国道266号の事故発生時に移動が困難となるため、迂回路となる道路が必要と考える。
政策目標	暮らし	④	熊本市へ早く行けること	・天草地域においても、熊本県が掲げる「90分構想」の早期実現が強く望まれる。
政策目標	医療	⑤	熊本市の第三次救急医療施設へ早く行けること、搬送時の走行性が良く、患者への負担が小さいこと	・救急搬送時の時間短縮及び良好な走行性の確保を重要視すべきである。
道路整備による影響	⑥		生活環境（騒音など）への影響が小さいこと	・騒音や振動は道路周辺に暮らす住民の生活にとって影響が大きいため、極力影響が少ないことが望ましいと考える。
道路整備による影響	⑦		自然環境（田畑・山地の改変など）への影響が小さいこと	・田畑や動植物の保全のためにも、極力影響が小さいことが望ましいと考える。
道路整備による影響	⑧		移転する家屋が少ないこと	・地域の分断などにつながることから、移転する家屋は少ないほうが良いと考える。
道路整備による影響	⑨		沿道からの利用が便利なこと	・インターチェンジ等を介し、沿道からの産業施設や集落からの利用が便利なほうが望ましいと考える。
道路整備による影響	⑩		段階的な整備効果が望めること	・道路の効果が早期に発現できるよう、部分開通等ができることが望ましいと考える。
道路整備による影響	⑪		整備費用が安いこと	・早期完成につながるよう、整備費用が安いことが望ましいと考える。
インターチェンジに関すること	⑫		災害時に安全かつ円滑にアクセスすること	・災害時に当該地域への救援物資の搬送や、救急活動のためにも災害時にも安全に利用できる位置にインターチェンジが必要だと考える。
インターチェンジに関すること	⑬		産業施設に近接し、熊本市の卸売市場への移動時間が短いこと	・輸送コストの削減や商品の品質保持のためにも、産業施設の近くにインターチェンジがあることが望ましいと考える。
インターチェンジに関すること	⑭		観光地に近接し、観光地への移動時間が短いこと	・宇土～三角間の観光地に立寄ったあとに天草方面へ観光にきてもらうためにも、観光地からの利用が便利な箇所にインターチェンジがあることが望ましいと考える。
インターチェンジに関すること	⑮		集落に近接し、熊本市の市街地や第三次救急医療施設に早く行けること	・集落の衰退を防ぐためにも、医療施設に早く行けるなど、集落からの利便性が高い位置にインターチェンジがあることが望ましいと考える。
その他の意見				・熊本天草間の移動時間が短くなることは、主要な産業である農林水産業や観光産業の発展につながると考えられ、過疎化が進む天草地域にとって大いに期待することである。「90分構想」実現のためにも熊本天草幹線道路の早期整備を強く望む。 ・また、近年、大きな自然災害が頻発しており、令和2年7月豪雨でも効果が発揮されたように、規格の高い幹線道路の整備の必要性が高まっているところである。苓北町の支援・受援体制の強化のためにも熊本天草間に強靭な幹線道路の整備を望む。

４．対応方針（案）の検討

4－1. 対応方針（案）の検討 ＜複数案の比較＞

・【案①】国道57号を4車線に拡幅し、線形不良箇所を改良しながら、走行性・速達性の向上を図る案
・【案②】最短ルートを基本に全線別線で整備し、走行性・速達性の向上を図る案
・【案③】集落や産業施設にアクセスしながら全線別線で整備し、走行性・速達性の向上を図る案



【案①】
※道路構造は、海側への拡幅を基本とし、標高が高い区域の別線整備箇所はトンネルを想定

【案②・③】
※接続する道路は国道を想定
※道路構造は、切土・盛土を基本とし、河川、鉄道を跨ぐ区域は橋梁、標高が高い区域はトンネルを想定

4－2. 対応方針（案）の検討 ＜複数案の比較＞

■比較評価の結果、意見聴取結果にて重要視されている全ての政策目標の達成が見込めるほか、道路整備による影響についても、他案より総合的に優れていることから、ルート帯案については、**【案③】別線整備案（南側ルート）を対応方針（案）**とする。

評価項目					[案①]現道（国道57号）改良案		[案②] 別線整備案（中央ルート）		[案③] 別線整備案（南側ルート）	
項目				評価指標	国道57号を4車線に拡幅し、線形不良箇所を改良しながら、走行性・速達性の向上を図る案 延長 約13km 一般道路タイプ （設計速度：60km/h）		最短ルートを基本に全線別線で整備し、走行性・速達性の向上を図る案 延長 約12km 自動車専用道路タイプ （設計速度：80km/h）		集落や産業施設にアクセスしながら全線別線で整備し、走行性・速達性の向上を図る案 延長 約13km 自動車専用道路タイプ （設計速度：80km/h）	
政策目標	防災	①	災害時に機能する信頼性の高い道路ネットワークの構築	災害時の代替路機能	×	・現道利用のため代替路が確保されない ・国道57号沿道の土砂災害警戒区域の影響は回避されない	○	・別線整備により代替路が確保される ・一部、土砂災害警戒区域や高潮浸水想定区域を通過するが、構造物等により回避可能	○	・別線整備により代替路が確保される ・一部、土砂災害警戒区域や高潮浸水想定区域を通過するが、構造物等により回避可能
政策目標	産業・物流	②	走行性・速達性の向上による産業活動の支援	宇城・天草地域の産業施設※1から熊本市の卸売市場までの走行性	△	・現道の線形不良箇所を改良するため、走行性の向上が見込まれるが、交差点が存在するため効果は、案②、案③より小さい	○	・現道の線形不良箇所を回避するため、走行性の向上が見込まれる	○	・現道の線形不良箇所を回避するため、走行性の向上が見込まれる
政策目標	産業・物流	②	走行性・速達性の向上による産業活動の支援	宇城・天草地域の産業施設※1から熊本市の卸売市場までの移動時間	△	・宇城地域から熊本市までの移動時間の短縮が図られるが、案②、案③より劣る ・天草地域から熊本市までの移動時間の短縮が図られるが、案②、案③より劣る	△	・宇城地域から熊本市までの移動時間の短縮が図られるが、案③より劣る ・天草地域から熊本市までの移動時間の短縮が図られる	○	・宇城地域から熊本市までの移動時間の短縮が最も図られる ・天草地域から熊本市までの移動時間の短縮が図られる
政策目標	観光	③	定時性・速達性の確保による観光振興の支援	観光地への移動時間 熊本市～天草地域の観光地（天草の崎津集落）	△	・天草地域への移動時間の短縮が図られるが、案②、案③より劣る	○	・天草地域への移動時間の短縮が図られる	○	・天草地域への移動時間の短縮が図られる
政策目標	暮らし	④	安全性・定時性・速達性の確保による生活利便性の向上	交通事故のリスクと事故発生時の迂回路機能	△	・通過交通が混在し、沿道出入箇所や交差点があるため、交通事故のリスクは懸念される ・事故発生時の迂回路は確保されないが、車線数が確保されるため、早期の復旧が期待できる	○	・別線整備により現道の通過交通が減少するため、事故の発生リスクが減少するうえ、迂回路の確保により定時性の向上が見込まれる	○	・別線整備により現道の通過交通が減少するため、事故の発生リスクが減少するうえ、迂回路の確保により定時性の向上が見込まれる
政策目標	暮らし	④	安全性・定時性・速達性の確保による生活利便性の向上	宇城・天草地域※2から熊本市への移動時間	△	・宇城地域から熊本市までの移動時間の短縮が図られるが、案②、案③より劣る ・天草地域から熊本市までの移動時間の短縮が図られるが、案②、案③より劣る	△	・宇城地域から熊本市までの移動時間の短縮が図られるが、案③より劣る ・天草地域から熊本市までの移動時間の短縮が図られる	○	・宇城地域から熊本市までの移動時間の短縮が最も図られる ・天草地域から熊本市までの移動時間の短縮が図られる
政策目標	医療	⑤	走行性・速達性の向上による救急医療活動の支援	宇城・天草地域※3から熊本市内の第三次救急医療施設（済生会熊本病院）までの走行性・搬送時間	△	・線形不良箇所を改良するため走行性の向上が見込まれる ・宇城地域からの搬送時間の短縮が図られるが、案②、案③より劣る ・天草地域からの搬送時間の短縮が図られるが、案②、案③より劣る	△	・別線整備により走行性の向上が見込まれる ・宇城地域からの搬送時間の短縮が図られるが、案③より劣る ・天草地域からの搬送時間の短縮が図られる	○	・別線整備により走行性の向上が見込まれる ・宇城地域からの搬送時間の短縮が最も図られる ・天草地域からの搬送時間の短縮が図られる
道路整備による影響	⑥		生活環境	大気質・騒音等	△	・集落の周辺を通過するため、生活環境に影響を与える可能性は案②よりも大きい	○	・集落を概ね回避するため、生活環境に影響を与える可能性は小さい	△	・集落の周辺を通過するため、生活環境に影響を与える可能性は案②よりも大きい
道路整備による影響	⑦		自然環境	田畑・山地の改変	○	・田畑・山地の改変は少ない	×	・概ね田畑・山地を通過し、主に田畑・山地の改変を伴うが、案③より山地部を通過するため、山地の改変が大きい。	△	・概ね田畑・山地を通過し、主に田畑・山地の改変を伴う
道路整備による影響	⑧		集落への影響	移転が必要となる家屋等の数	×	・沿道に隣接する家屋が多く、移転等は最も多い	○	・集落・市街地を概ね回避するため、家屋の移転等は少ない	△	・集落の周辺を通過するため、案②より家屋の移転等は多い
道路整備による影響	⑨		沿道利用	周辺からのアクセス利用	△	・国道57号沿道集落・施設からのアクセス性が高い ・国道266号沿線集落・施設からのアクセス性は低い	×	・国道57号や国道266号沿線集落・施設からのアクセス性が低い	△	・国道57号沿線集落・施設からのアクセス性は低い ・沿線集落、施設が集積する国道266号からのアクセス性は高い
道路整備による影響	⑩		段階的な効果の発現	発現の時期	○	・現道を改良するため、開通したところから効果発現が見込まれる	×	・部分的な開通が困難なため、効果の発現は全線開通後となる	△	・部分的な開通が可能なため、段階的に効果発現が見込まれる
道路整備による影響	⑪		コスト	整備に要する費用	△	**約800～850億円**	×	**約850～900億円**	○	**約700～750億円**

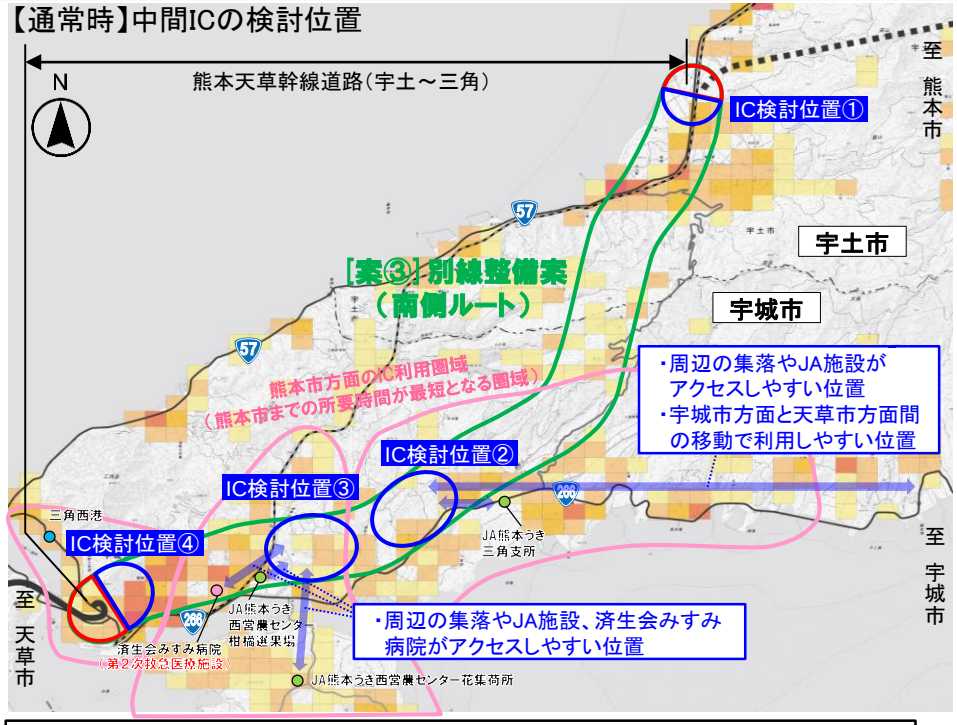
※1…宇城地域：JA熊本うき西営農センター花集荷所、天草地域：JAあまくさ
※2…宇城地域；三角地区、天草地域：天草市
※3…宇城地域：済生会みすみ病院、天草地域：天草地域医療センター
比較表の内容は、現時点で想定される概ねのルート評価を一般的な目安として記載している。
（ ○：改善・満足する △：一部改善・満足する ×：他案に比べ劣る ）

意見聴取で重視、または配慮すべきとされている上位の項目
他の案に比較し優位

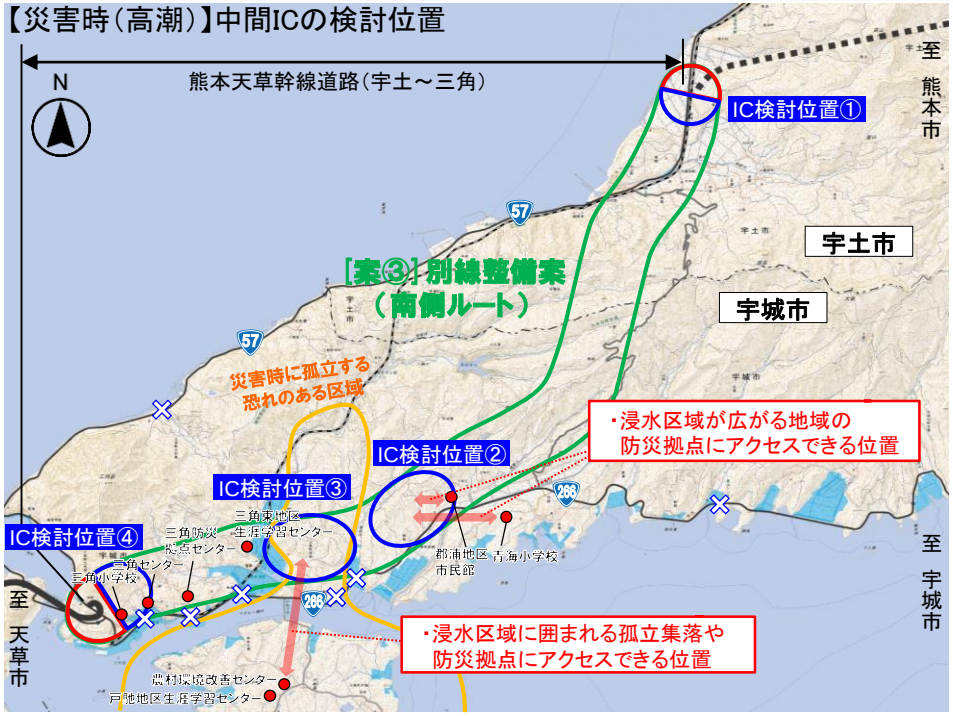
4－3. 対応方針（案）の検討 ＜インターチェンジの位置の検討＞

【起点部のICの検討（IC検討位置①）】
■起点側の（仮）網田ICは、ハーフICであるが、意見聴取の結果を踏まえ、災害時に安全かつ円滑にアクセスすることに配慮し、天草方面へのIC設置を検討
【中間ICの検討（IC検討位置②、③）】
■IC検討位置②については、以下の点に配慮しIC設置を検討
通常時：熊本市方面の市場や市街地へのアクセスに配慮し、周辺の集落やJA施設がアクセスしやすい位置。また、宇城市方面と天草市方面間の移動で利用しやすい位置
災害時：災害時に安全かつ円滑にアクセスすることに配慮し、浸水区域が広がる地域の防災拠点にアクセスできる位置
■IC検討位置③については、以下の点に配慮しIC設置を検討
通常時：熊本市方面の市場や市街地、第三次救急医療施設へのアクセスに配慮し、JA施設や周辺の集落、済生会みすみ病院がアクセスしやすい位置
災害時：災害時に安全かつ円滑にアクセスすることに配慮し、浸水区域に囲まれる孤立集落や防災拠点にアクセスできる位置
【終点部のICの検討（IC検討位置④）】
■終点側のみすみICは、ハーフICであるが、集落に近接し熊本市の市街地に早く行けることに配慮し、熊本方面へのIC設置を検討

【通常時】中間ICの検討位置



【災害時（高潮）】中間ICの検討位置



凡　例
＜地域拠点＞
- 産業施設（ＪＡ施設）
- 観光地（三角西港）
- 医療施設（済生会みすみ病院）

＜IC利用圏域＞
- 熊本市方面のIC利用圏域
  ※ICを設置し、宇土三角道路を利用した場合、目的地への所要時間が最短となる圏域
  出典：H27全国道路・街路交通情勢調査　12H平均速度

＜人口メッシュ＞
- 1～ 10人
- 11～ 50人
- 51～100人
- 101～200人
- 201人以上

出典：H27国勢調査

凡　例
＜地域拠点＞
- 防災拠点（市指定避難所）※令和２年度版宇城市地域防災計画

＜災害に関して＞
- 浸水想定区域（高潮）
- 災害時（高潮）の通行止め想定箇所
- 災害時に孤立する恐れのある区域

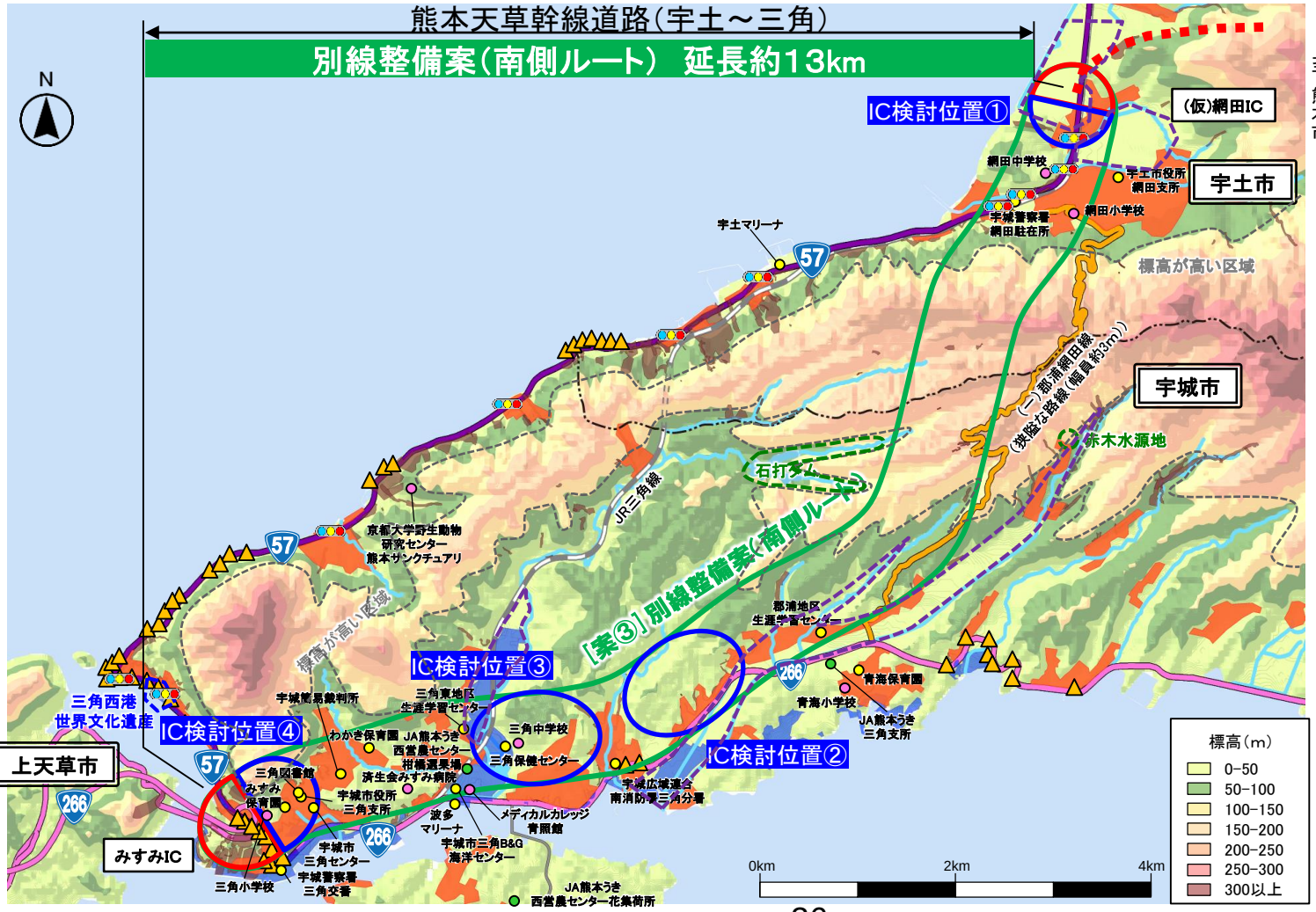
4－4. 対応方針（案）の検討 ＜ルート帯案・インターチェンジの位置＞

【ルート帯案の考え方】

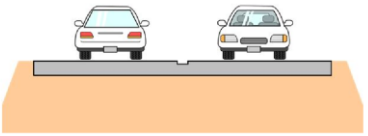
■災害時の代替路機能の確保、産業・救急活動や観光および日常生活における宇城・天草地域と熊本市の市街地や卸売市場、救急医療施設との速達性・走行性の向上、現道からの通過交通の分離に伴う事故リスクの減少による安全性の向上、事故発生時の迂回路の確保を図るとともに、沿道の集落や施設が集積する国道266号からのアクセス性、自然・生活環境およびコストに配慮したルート

【インターチェンジの位置の考え方】

■地域の意見を踏まえて、災害時のアクセス性及び集落に近接し、熊本市方面の市街地や第三次救急医療施設との連絡性などの機能を確保



断面図



※接続する道路は国道を想定

※道路構造は、切土・盛土を 基本とし、河川、鉄道を跨ぐ区域は橋梁、標高が高い区域はトンネルを想定

	概ねのルート帯
	概ねのIC位置

凡 例	
	一般国道（直轄）
	一般国道（補助）
	一般県道
	その他の道路
	鉄道路線
	インターチェンジ
	信号交差点（国道57号）
	公共施設
	産業施設
	学校・病院
	市街地・集落
	世界文化遺産
	ダム・水源地
	田畑
	標高が高い区域
	高潮浸水想定区域
	土砂災害特別警戒区域・警戒区域
	市町村境界
	線形不良箇所（R≦150）

5. 自治体への意見照会

5－1. 自治体への意見照会＜対応方針（案）に対する自治体意見＞

■意見照会の回答（要旨）

	意　見
熊本県	1. 熊本天草幹線道路（宇土～三角）における九州地方整備局としての対応方針（素案）に同意します。 2. 熊本県熊本市と天草市を結ぶ地域高規格道路・熊本天草幹線道路は、県内の幹線道路ネットワークの横軸をなし、熊本都市圏と天草地域との交流・連携を強化し、宇城・天草地域の産業や観光の振興に資する道路であることから、全線の早期整備に向けて特段のご配慮をお願いします。 3. 本県では、令和2年7月豪雨により、国道219号や国道3号が通行止めとなり、九州縦貫自動車道や南九州西回り自動車道がその代替路として非常に大きな役割を果たしました。熊本－天草間におけるリダンダンシー確保のためにも宇土～三角間の早期整備を強く望みます。 4. また、熊本都市圏と県内主要都市を90分で結ぶ「90分構想」の実現には、今回対象区間の整備が不可欠であることなどから、早期の新規事業化について特段のご配慮をお願いします。 5. なお、本県としても、事業化に向けて様々な調査や事業進捗に必要な協力をしていく考えです。

■意見照会の回答（熊本県知事）

道整第１８８号
令和３年（２０２１年）２月１７日

国土交通省
九州地方整備局長　村山　一弥　様

熊本県知事　蒲島　郁夫
（公　印　省　略）

道路事業の計画段階評価に係る意見照会について（回答）

令和３年（２０２１年）２月１６日付け国九整道一計第４７号で意見照会のありましたこのことについて、下記のとおり回答します。

記

熊本天草幹線道路（宇土～三角）における九州地方整備局としての対応方針（素案）に同意します。

熊本県熊本市と天草市を結ぶ地域高規格道路・熊本天草幹線道路は、県内の幹線道路ネットワークの横軸をなし、熊本都市圏と天草地域との交流・連携を強化し、宇城・天草地域の産業や観光の振興に資する道路であることから、全線の早期整備に向けて特段のご配慮をお願いします。

本県では、令和２年７月豪雨により、国道２１９号や国道３号が通行止めとなり、九州縦貫自動車道や南九州西回り自動車道がその代替路として非常に大きな役割を果たしました。熊本―天草間におけるリダンダンシー確保のためにも宇土～三角間の早期整備を強く望みます。

また、熊本都市圏と県内主要都市を９０分で結ぶ「９０分構想」の実現には、今回対象区間の整備が不可欠であることなどから、早期の新規事業化について特段のご配慮をお願いします。

なお、本県としても、事業化に向けて様々な調査や事業進捗に必要な協力をしていく考えです。

６．対応方針（案）まとめ

6－1. 対応方針（案）まとめ

1. 道路整備の必要性

【理由】

政策目標を**実現できる道路整備を検討**

【政策目標】

◇災害時に機能する信頼性の高い道路ネットワークの構築
◇走行性・速達性の向上による産業活動の支援
◇定時性・速達性の確保による観光振興の支援
◇安全性・定時性・速達性の確保による生活利便性の向上
◇走行性・速達性の向上による救急医療活動の支援

○対象地域は、国道57号、266号の災害や事故による通行止めや移動時の安全性・走行性・速達性が低いことが課題であり、災害時の代替路確保、事故時の迂回路や安全性の確保、宇城・天草地域と熊本市間の走行性・速達性確保による産業・救急活動、観光振興、日常生活を支援する道路の整備が必要。
○住民アンケートや団体・企業ヒアリングにおいても、災害時の代替路確保や宇城・天草地域と熊本市の卸売市場・第三次救急医療施設までの走行性・速達性確保、事故時の迂回路や安全性の確保が必要という意見が多く、このような政策目標を実現できる道路が望まれている。

2. 対応方針（案）

（1）ルート帯案について
『[案③]別線整備案（南側ルート）』を対応方針（案）とする。

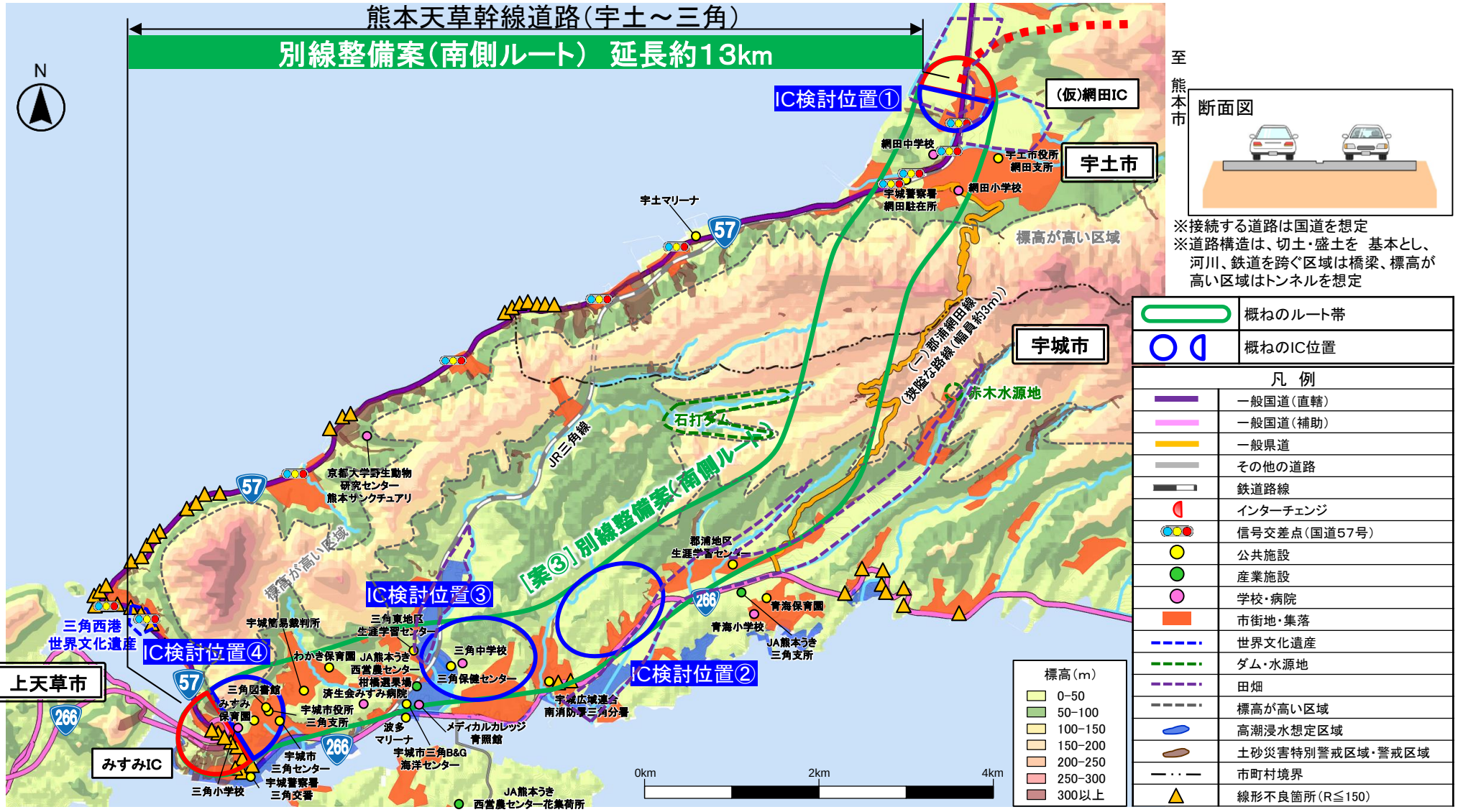
【 理 由 】
○『【案③】別線整備案（南側ルート）』は、『【案①】現道（国道57号）改良案』、『【案②】別線整備案（中央ルート）』と比べて、全ての政策目標の達成が見込まれる。
○政策目標に関して、地域の意見聴取で重視すべきとの回答が多かった、「①災害時に国道57号や国道266号の代替路として利用できること」「④事故の危険性が少ないこと、事故発生時に迂回路として利用できること」「⑤熊本市の第三次救急医療施設へ早く行けること、搬送時の走行性が良く、患者への負担が小さいこと」の項目についても【案③】は優れており、地域のニーズにも応えられている。
○道路整備による影響に関して、「⑪整備に要する費用」が他案より優れている他、相対的に【案③】が他案より優れている。
○自治体からも政策目標の災害時の代替路確保や事故時の迂回路、安全性の確保の視点からルート設定を望む意見が寄せられている。
○比較評価の結果、【案③】は意見聴取結果にて重視されている全ての政策目標の達成が見込め、他案より総合的に優れている。

（2）インターチェンジについて
災害時の安全かつ円滑なアクセス性を考慮して、浸水想定区域を回避し、道路へ接続する位置へ配置する。
また、熊本市方面の市街地や第三次救急医療施設への連絡性に配慮し、集落に近接する位置へ配置する。

【 理 由 】
○地域の意見聴取において、「⑫災害時に安全かつ円滑にアクセスすること」「⑮集落に近接し、熊本市の市街地や第三次救急医療施設に早く行けること」の項目について重視する声が多かった。

3. その他（配慮すべき事項等）

○詳細なルート・構造の検討にあたっては、コスト縮減に留意して検討を行うとともに、既存の道路状況や沿道利用状況を踏まえながら、新たに整備される道路と既存の道路の接続方法や計画地周辺の土地利用計画について、各関係自治体と調整を行う。

6－2. 対応方針（案）まとめ

集落や産業施設にアクセスしながら全線別線で整備し、走行性・速達性の向上を図る【案③】別線整備案（南側ルート）とする。